

**MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING**

**RFIDインタフェースユニット**

形名

**ECL2-V680D1**

**FBライブラリ リファレンスマニュアル**

(MELSEC iQ-Fシリーズ用)

Products for Monitoring and Traceability



**CC-Link**

## 《目次》

リファレンスマニュアル改訂履歴	2
1. 概要	3
1.1. FB ライブラリ概要	3
1.2. FB ライブラリの機能内容	3
1.3. システム構成例	4
1.4. 各種バージョンについて	5
1.5. CC-Link システムマスタ局のユニットパラメータ設定	6
1.5.1. 必須設定	6
1.5.2. 基本設定	7
1.6. グローバルラベル設定	9
1.7. インタロックプログラム作成	11
1.8. 間接アドレス指定	12
1.9. 関連マニュアル	12
1.10. お願い	12
2. FB ライブラリ詳細	13
2.1. P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F (イニシャルデータ設定)	13
2.2. P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F (ID タグのリード)	21
2.3. P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F (ID タグのライト)	28
2.4. P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F (ID タグのデータフィル)	35
2.5. P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F (ID タグの UID リード)	41
2.6. P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F (ノイズ測定)	47
2.7. P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F (イニシャルデータリード)	53
2.8. P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F (ユニット状態読出し)	59
付録 1. 安全上のご注意	63
付録 2. 運転までの設定と手順	67
付録 3. 接続, 配線説明	68
付録 4. ハードウェア設定	69
付録 5. 接続確認方法	70
付録 6. エラーコード一覧	71
付録 7. FB ライブラリ使用例	72



## リファレンスマニュアル改訂履歴

※取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	※取扱説明書番号	改訂内容
2018年 6月	50CM-D180349-A	新規作成
2023年 9月	50CM-D180349-B	表紙と裏表紙のデザイン変更

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

©2018 (2023) MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED ALL RIGHTS RESERVED



## 1. 概要

### 1.1. FB ライブラリ概要

本 FB ライブラリは, ECL2-V680D1 形 CC-Link 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニットを MELSEC iQ-F シリーズで使用するための FB ライブラリです。

### 1.2. FB ライブラリの機能内容

No.	FB 名称(※1)	内 容(※2)
1	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F	Sets the initial data when a command is executed. ユニットのイニシャルデータを設定します。(※3)
2	P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F	Reads data from an ID tag. ID タグからデータを読み出します。
3	P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F	Writes data to an ID tag. ID タグへデータを書込みます。
4	P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F	Initializes data of an ID tag. 指定したデータで ID タグを初期化します。
5	P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F	Reads the UID(unit identification number) of an ID tag. ID タグの UID(個別識別番号)を読み出します。
6	P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F	Measures the noise environment around an antenna. アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。
7	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F	Reads the Initial Data Setting. イニシャルデータを読み出します。
8	P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F	Reads the Module status. ユニット状態を読み出します。

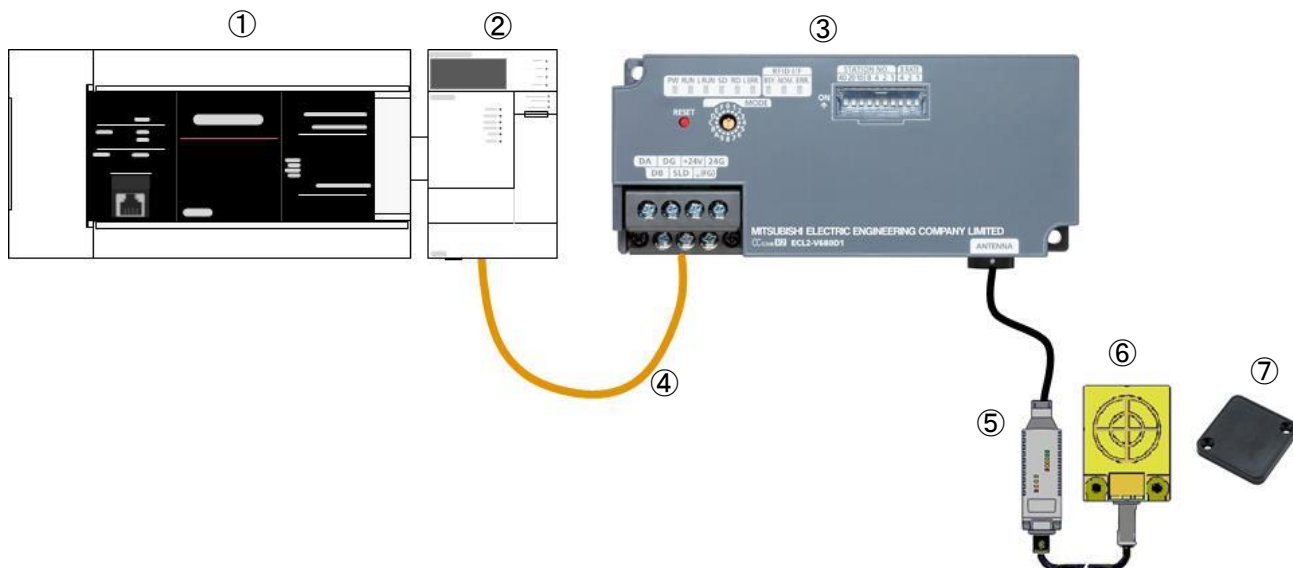
※1 FB 名称の末尾には“\_00A”などの FB バージョン情報が表示されますが, 本リファレンスマニュアルでは記載しません。

※2 ラベルコメントは, GX Works3 の表示可能文字数制限により, 省略形で記載していることがあります。

※3 電源投入後またはリセット解除後, 必ず最初に実行してください。



### 1.3. システム構成例



No.	機器名	説明	
①	シーケンサ	CPU ユニット	
		シリーズ	モデル
		MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU(※1)
②	CC-Link システムマスタ・インテリジェントデバイスユニット	FX5-CCL-MS	
③	CC-Link 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット	ECL2-V680D1	
④	ケーブル	CC-Link ケーブル	
⑤	RFID アンプ	オムロン V680 シリーズアンプ	
⑥	RFID アンテナ	オムロン V680 シリーズアンテナ	
⑦	ID タグ	オムロン V680 シリーズ ID タグ	

※1 FX5UC CPU と FX5-CCL-MS を接続する際は、FX5-CNV-IFC または FX5-C1PS-5V が必要です。

## 1.4. 各種バージョンについて

指定できる CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。以下の表をご確認ください。

		iQ-F CPU ユニット F/W バージョン	
		Version 1.050～ Version 1.100 未満	Version 1.100 以降 ※1
GX Works3 バージョン	Version 1.042U～ Version 1.047Z 未満	1～24 局	1～24 局
	Version 1.047Z 以降	1～24 局	1～28 局

※1 Version 1.100 は CPU ユニットのシリアル番号が 17X\*\*\*\*以降のユニットに対応しています。

有効範囲によって後述のリフレッシュの設定が異なります。1.5. CC-Link システムマスタ局のユニットパラメータ設定を参照してください。

注意: 各 FB の入力ラベル[CC-Link 局番]は上記のバージョン等に関わらず、1～28 局を有効範囲として入力できますが、使用機器やバージョンが 1～28 局に対応していない場合は 1～24 局としてご使用ください。

## 1.5. CC-Link システムマスタ局のユニットパラメータ設定

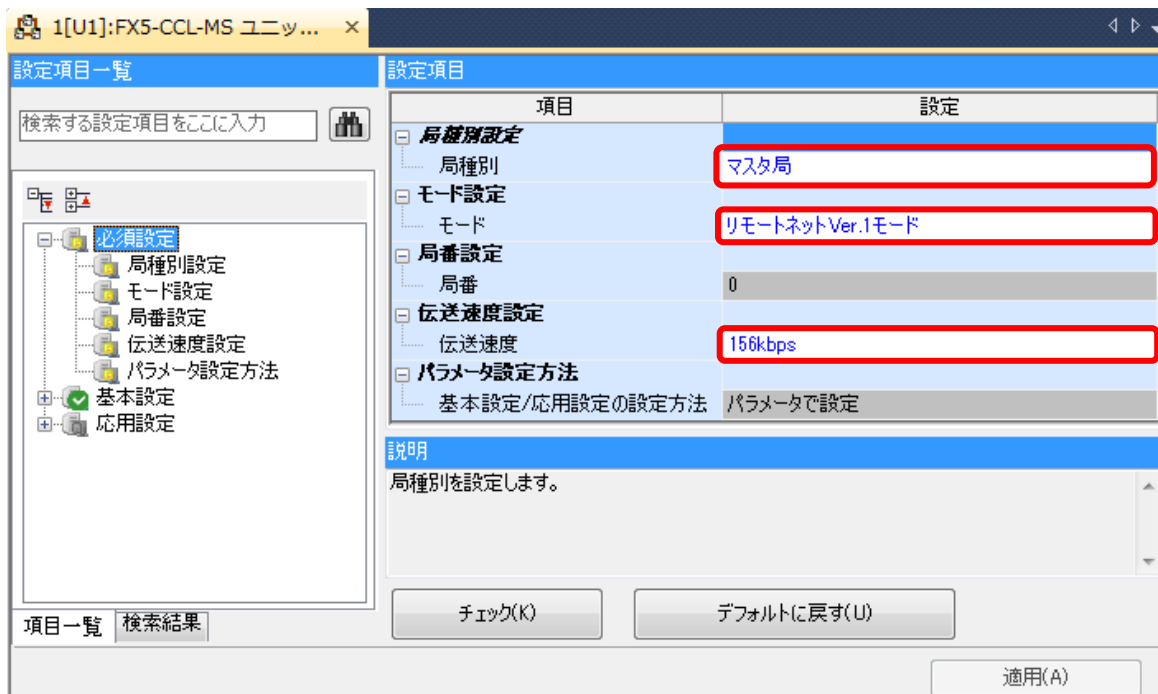
1.3 節「システム構成例」に基づくマスタ局のユニットパラメータ設定の内容を説明します。GX Works3 を用いて、以下の項目を設定します

### 1.5.1. 必須設定

項目	内容
種別	局種別を設定します。 「マスタ局」を選択します。
モード設定 ※1	CC-Link の動作モードを設定します。 例:「リモートネット-Ver.1 モード」を選択します。
伝送速度 ※2	CC-Link の伝送速度を設定します。 例:「156kbps」を選択します。

※1「リモートネット-Ver.1 モード」または「リモートネット-Ver.2 モード」を選択してください。

※2「156kbps/625kbps/2.5Mbps/5Mbps/10Mbps」から選択可能です。

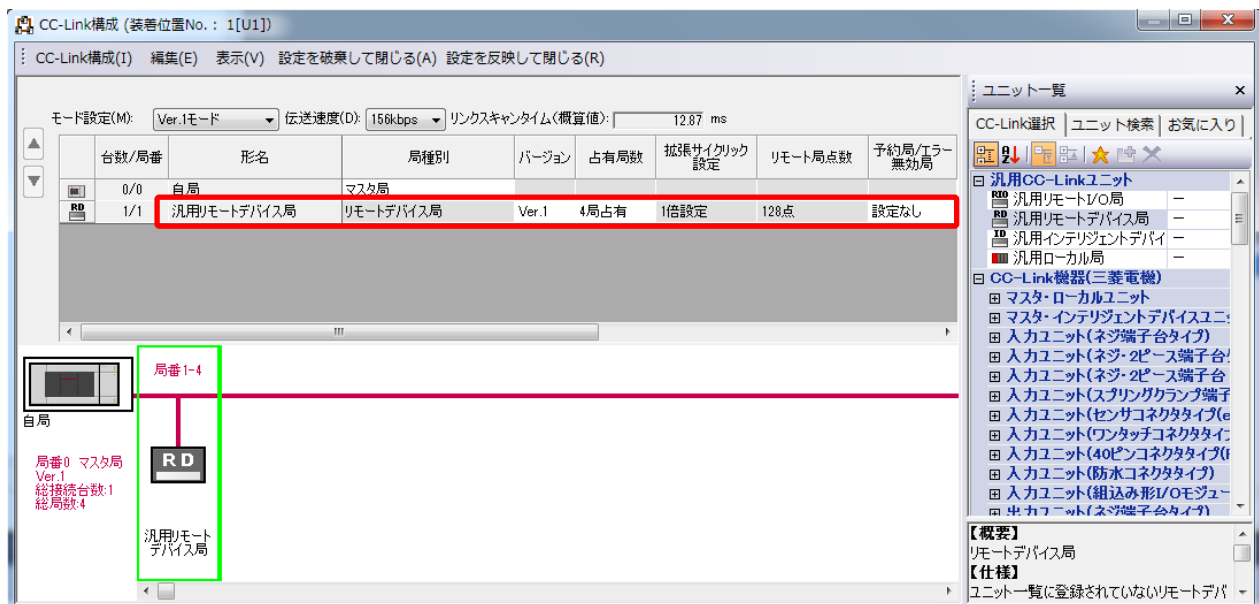


## 1.5.2. 基本設定

### ネットワーク構成設定

項目	内容
局種別 (※1)	マスター局に接続するリモートユニットの局種別を設定します。 例:「リモートデバイス局」を設定します。
バージョン (※1)	CC-Link のバージョンを設定します。 例:「Ver.1」を設定します。
占有局数 (※1)	リモートユニットが占有する局数を設定します。 例:「4 局占有」を選択します。
拡張サイクリック設定 (※1)	RFID インタフェースユニットのモード切換えスイッチの設定値により拡張サイクリック設定が異なります。 例:「1 倍設定」を選択します。(Ver.1 使用時は「1 倍設定」固定)
予約局/エラー無効局	リモートユニットの予約局/無効局を設定します。 例:「設定なし」を選択します。

※1 RFID インタフェースユニットのモード切換えスイッチの設定に合わせてください。  
モード切換えスイッチの設定は付録 4.ハードウェア設定を参照してください。





## リンクリフレッシュ設定

CC-Link 局番 **1~28 局対応時**のパラメータは以下のように設定してください。

設定項目	リンク側			CPU側		
	デバイス名	先頭	最終	デバイス名	先頭	最終
SB	00000	001FF		SB	00000	001FF
SW	00000	001FF		SW	00000	001FF
RX	00000	0037F		X	00100	1677
RY	00000	0037F		Y	00100	1677
RW <sub>r</sub>	00000	0006F		W	00000	0006F
RW <sub>w</sub>	00000	0006F		W	00100	0016F

設定項目

検索する設定項目をここに入力

No.	リンク側				リフレッシュ先	CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	896	00000	0037F	指定デバイス	X	896	100	1677
2	RY	896	00000	0037F	指定デバイス	Y	896	100	1677
3	RW <sub>r</sub>	112	00000	0006F	指定デバイス	W	112	00000	0006F
4	RW <sub>w</sub>	112	00000	0006F	指定デバイス	W	112	00100	0016F
5									

説明  
自局のリンク特殊リレーレジスタ、リンクデバイスとCPUユニットのデバイス間の転送範囲を設定します。

項目一覧 検索結果

チェック(K) デフォルトに戻す(U) 適用(A)

CC-Link 局番 **1~24 局対応時**のパラメータは以下のように設定してください。

設定項目	リンク側			CPU側		
	デバイス名	先頭	最終	デバイス名	先頭	最終
SB	00000	001FF		SB	00000	001FF
SW	00000	001FF		SW	00000	001FF
RX	00000	002FF		X	00100	1477
RY	00000	002FF		Y	00100	1477
RW <sub>r</sub>	00000	0005F		W	00000	0005F
RW <sub>w</sub>	00000	0005F		W	00100	0015F

設定項目

検索する設定項目をここに入力

No.	リンク側				リフレッシュ先	CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	768	00000	002FF	指定デバイス	X	768	100	1477
2	RY	768	00000	002FF	指定デバイス	Y	768	100	1477
3	RW <sub>r</sub>	96	00000	0005F	指定デバイス	W	96	00000	0005F
4	RW <sub>w</sub>	96	00000	0005F	指定デバイス	W	96	00100	0015F
5									

説明  
リフレッシュ対象とするCPUデバイスを設定します。

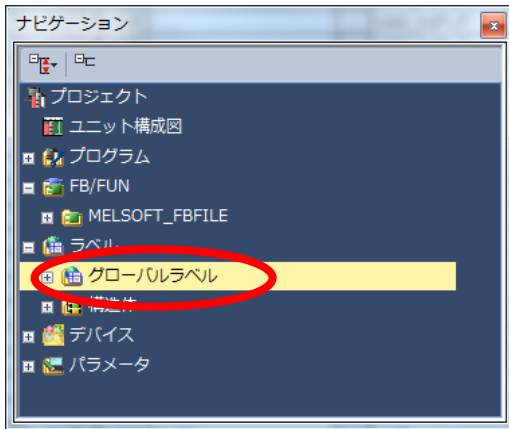
項目一覧 検索結果

チェック(K) デフォルトに戻す(U) 適用(A)

## 1.6. グローバルラベル設定

本 FB を使用する際は、以下のグローバルラベルの設定が必要です。グローバルラベルの設定を説明します。

ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル」を選択します。



G\_RX リモート入力(RX)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RX」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.5.2 項にて入力したリモート出力(RX)に「Z9」を付加して入力します。 「X100Z9」を入力します。

G\_RY リモート出力(RY)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RY」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.5.2 項にて入力したリモート出力(RY)に「Z9」を付加して入力します。 「Y100Z9」を入力します。

G\_RW<sub>r</sub> リモートレジスタ(RW<sub>r</sub>)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RW <sub>r</sub> 」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.5.2 項にて入力したリモート出力(RW <sub>r</sub> )に「Z8」を付加して入力します。 「W0Z8」を入力します。

G\_RW<sub>w</sub> リモートレジスタ(RW<sub>w</sub>)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RW <sub>w</sub> 」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.5.2 項にて入力したリモート出力(RW <sub>w</sub> )に「Z8」を付加して入力します。 「W100Z8」を入力します。

MELSEC iQ-F シリーズシーケンサのグローバルラベル設定

ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)
1 G_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1 00Z9
2 G_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 00Z9
3 G_RW <sub>r</sub>	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0Z8
4 G_RW <sub>w</sub>	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W1 00Z8
5			

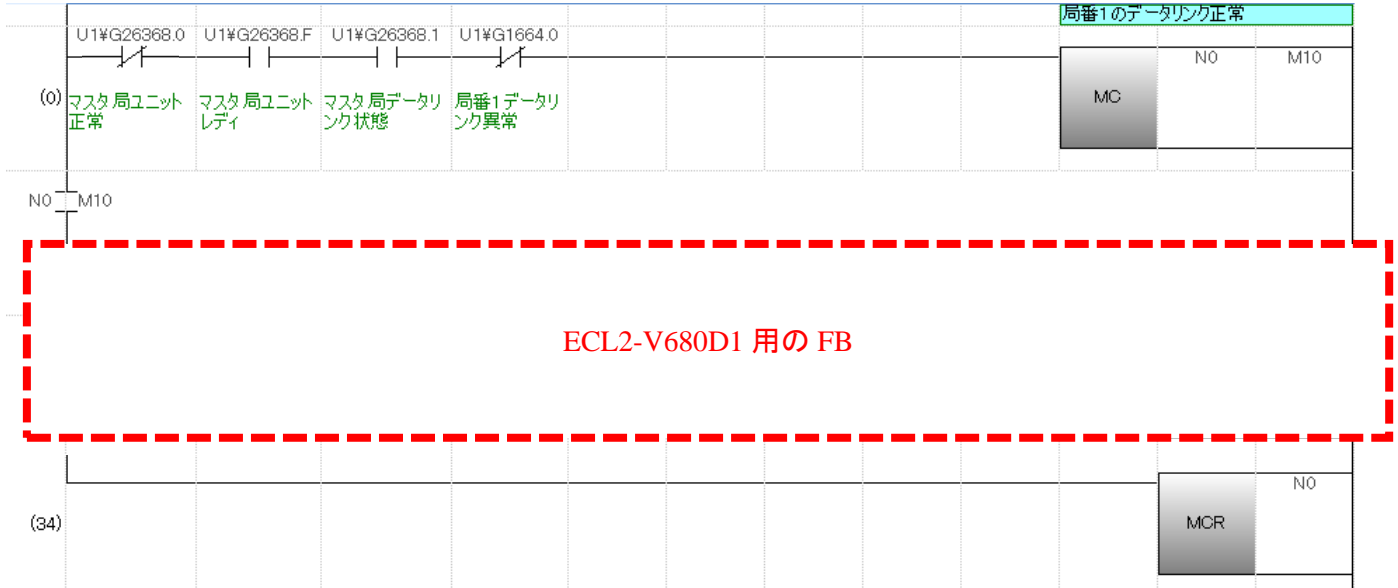
## 1.7. インタロックプログラム作成

本 FB を使用する際は、インタロックプログラムの作成が必要です。以下にインタロックプログラムの例を示します。  
(MC 命令と MCR 命令の間に該当する FB を設定してください。)

インタロックプログラムでは、下記のデバイスでインタロックを行ってください。

・自局のデータリンク状態(U1¥G26368.1)

インタロック例 : (CC-Link 局番 1)  
(ユニット No.1)



ECL2-V680D1 用の FB

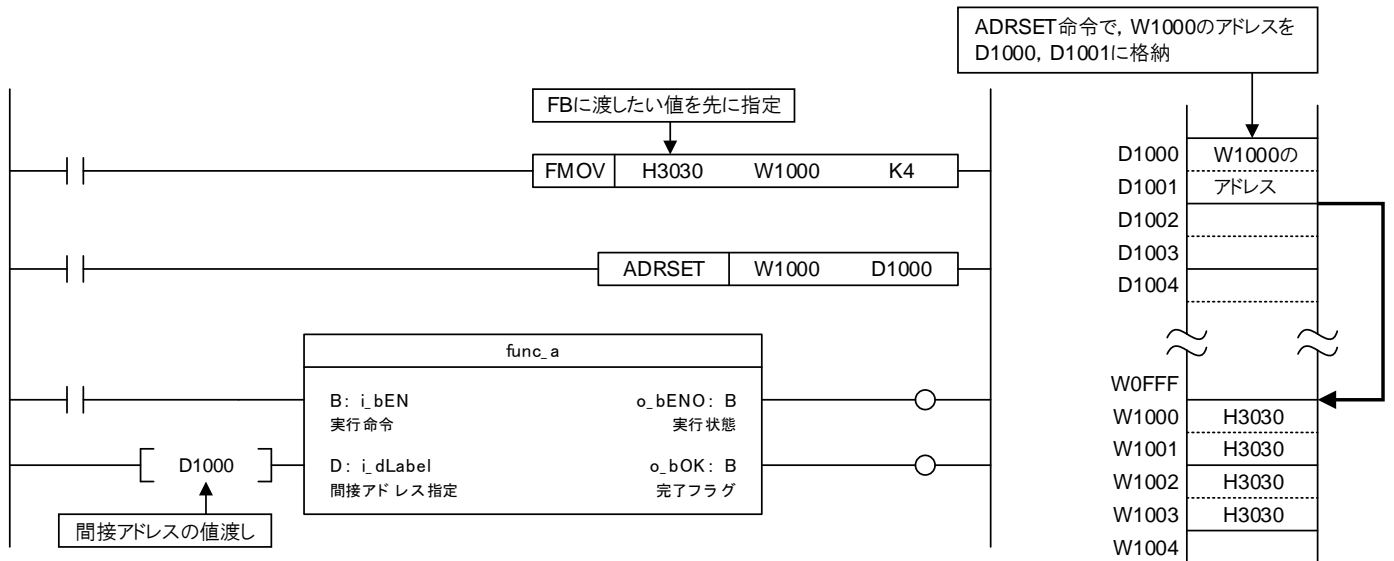


## 1.8. 間接アドレス指定

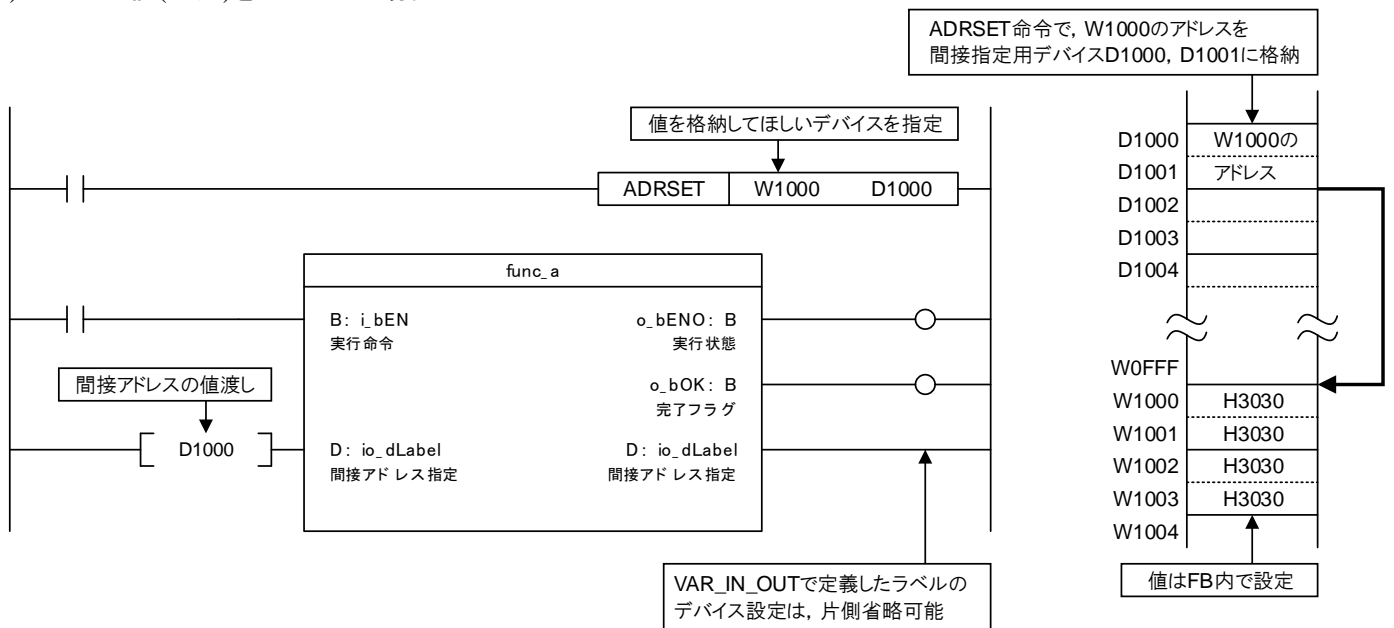
本 FB ライブラリでは、FB の入力に間接アドレスを指定する箇所があります。

間接アドレスの使用例を以下に示します。

### (1) FB に値(配列)を渡したい場合



### (2) FB から値(配列)をもらいたい場合



## 1.9. 関連マニュアル

ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180158-D)

MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編) (SH(名)-081792-B)

## 1.10. お願い

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 2. FB ライブラリ詳細

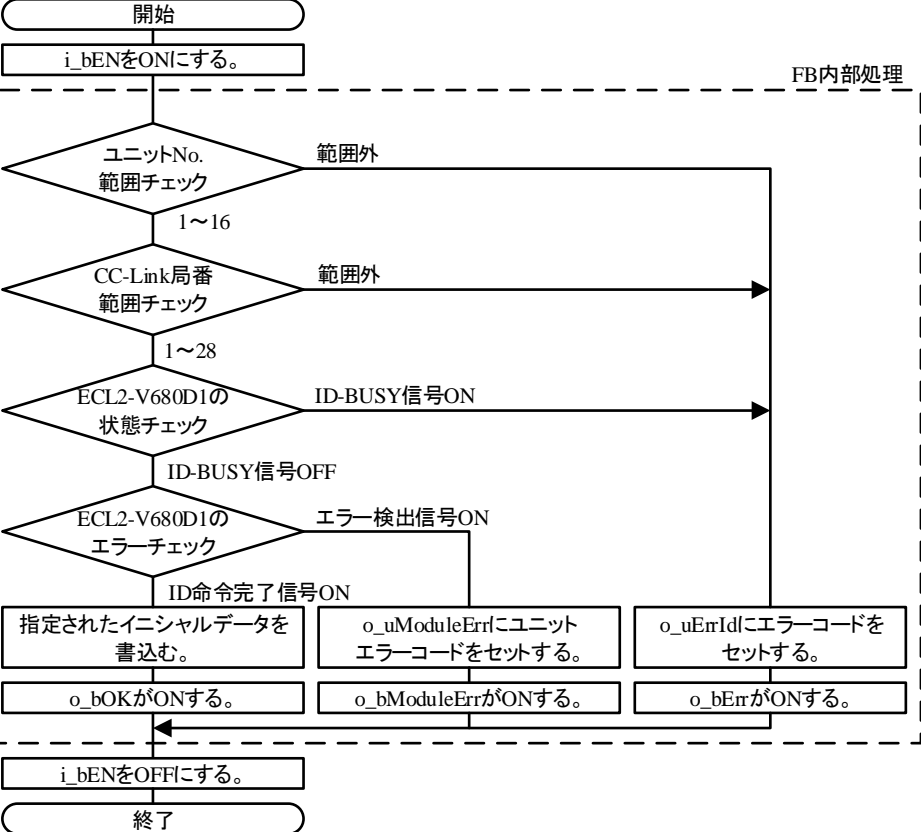
### 2.1. P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataSet\_F (イニシャルデータ設定)

名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataSet\_F

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	ユニットのイニシャルデータを設定します。 イニシャル処理実行時またはイニシャルデータ変更時に実行してください。 ※ 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bEN</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wModuleNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wStationNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wCommunication</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信設定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wCommSetting</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bModuleErr:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wProcessingNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uModuleErr:UW</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">オート系コマンド 待ち時間設定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wWait</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了	交信指定	W:i_wCommunication	o_uErrId:UW	エラーコード	交信設定	W:i_wCommSetting	o_bModuleErr:B	ユニットエラー	処理指定	W:i_wProcessingNo	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	オート系コマンド 待ち時間設定	W:i_wWait		
P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F																																		
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																															
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																															
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																															
交信指定	W:i_wCommunication	o_uErrId:UW	エラーコード																															
交信設定	W:i_wCommSetting	o_bModuleErr:B	ユニットエラー																															
処理指定	W:i_wProcessingNo	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																															
オート系コマンド 待ち時間設定	W:i_wWait																																	
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																												
		シリーズ	モデル																															
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																													
	シリーズ	モデル																																
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> ※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																													
シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
記述言語	ラダー																																	
ステップ数	1049Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																	

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、設定した各種イニシャルデータを ECL2-V680D1 に書込みます。書込みが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p>  <p>②エラーの場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p>
インデックスレジスタ	<p>使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。</li> <li>② 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</li> <li>③ ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</li> <li>④ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</li> <li>⑤ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</li> <li>⑥ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</li> <li>⑦ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</li> <li>⑧ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), i_wCommunication(交信指定), i_wCommSetting(交信設定), i_wProcessingNo(処理指定), i_wWait(オート系コマンド待ち時間設定)の値を変更しないでください。</li> <li>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</li> <li>⑩ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか確認ください。</li> <li>⑪ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</li> </ul>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)





項目	内容	
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b></p>	<p><b>【異常終了の場合】</b></p>
	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p>	<p>n: 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス  m: モード切換えスイッチの設定により割り付けられたアドレス</p>
関連マニュアル	ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)	

■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

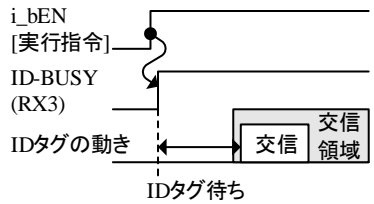
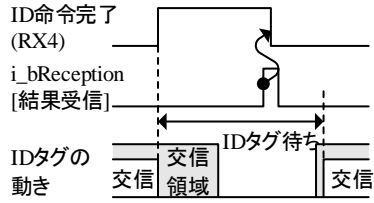
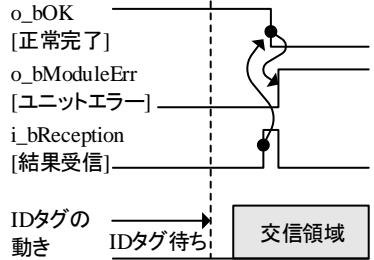
■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10進数)	対象 CC-Link システムマスタ・インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してください) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
交信指定	i_wCommunication	ワード [符号付き]	0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFO トリガ 4:FIFO リピート	ID タグに対する交信方法を指定します。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明												
交信設定	i_wCommSetting	ワード [符号付き]	0000~000F (16進数)	ID タグに対する交信設定を選択します。												
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり</td> </tr> <tr> <td>4~15</td> <td>未使用</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード	2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効	3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり	4~15	未使用
				ビット	内容											
				0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない											
				1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード											
				2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効											
3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり															
4~15	未使用															
処理指定	i_wProcessingNo	ワード [符号付き]	0, 1	ID タグに対するデータ格納順を指定します。												
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>処理指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リード</td> <td rowspan="3">データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位</td> </tr> <tr> <td>ライト</td> </tr> <tr> <td>データフィル</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	処理指定	リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位	ライト	データフィル						
				コマンド	処理指定											
				リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位											
ライト																
データフィル																



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	i_wWait	ワード [符号付き]	1~9999, 0 (10進数)	<p>i_wCommunication(交信指定)がオート系コマンド(オート, リピートオート, FIFO リピート)の場合に, ID タグの検出待ち時間を 0.1 秒単位で指定します。 (例えば 30 秒の場合, K300 を指定してください。)</p> <p>0 または有効範囲外の値を指定した場合は ID タグからの応答があるまで検出待ちをします。</p> <p>各 FB でコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。</p> <p><b>【オート, リピートオート, FIFO リピートの場合】</b></p>  <p><b>【リピートオート, FIFO リピートの場合】</b></p>  <p>i_bReception(結果受信)ON 前に設定した待ち時間が経過したときは, i_bReception(結果受信)ON 後に o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON します。</p> 



## ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:イニシャルデータ設定値エラー。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー 詳細を格納します。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

## お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



## 2.2. P+MEE-ECL2-V680D1\_Read\_F (ID タグのリード)

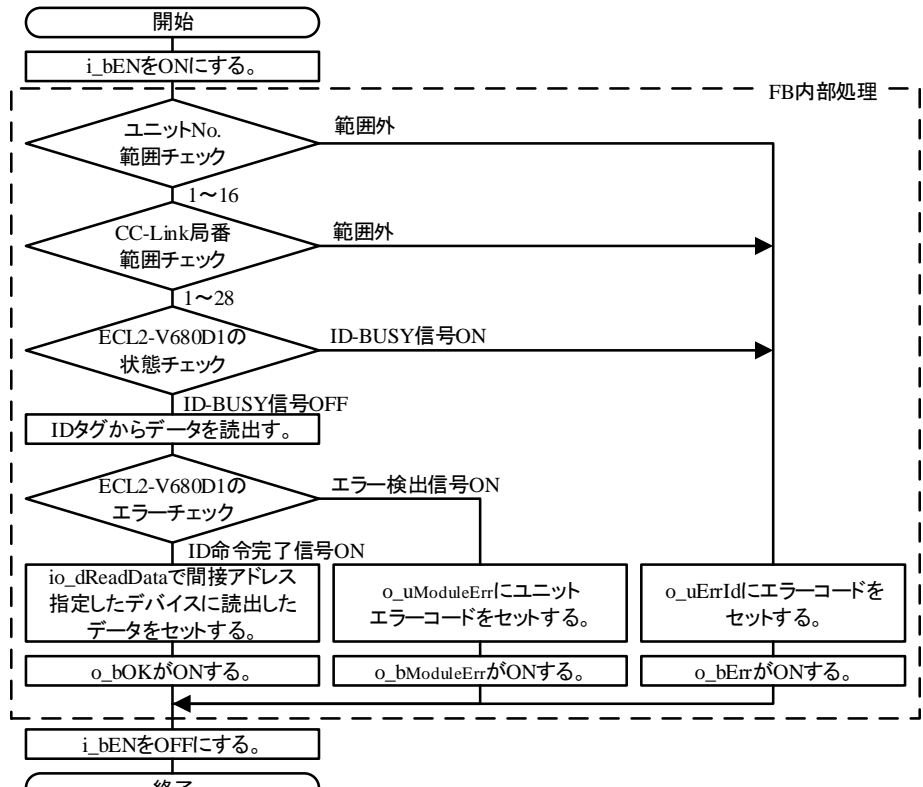
名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_Read\_F

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	ID タグからデータを読み出します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bEN</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wModuleNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wStationNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">先頭アドレス指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wAddressNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理点数指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wReadByte</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bModuleErr:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bReception</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uModuleErr:UW</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">読み出しデータ (間接アドレス指定)</td> <td style="border: 1px solid black;">D:io_dReadData</td> <td style="border: 1px solid black;">io_dReadData:D</td> <td style="text-align: left;">読み出しデータ (間接アドレス指定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_bIDComEnd:B</td> <td style="text-align: left;">ID送信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了	先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード	処理点数指定	W:i_wReadByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー	結果受信	B:i_bReception	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	読み出しデータ (間接アドレス指定)	D:io_dReadData	io_dReadData:D	読み出しデータ (間接アドレス指定)			o_bIDComEnd:B	ID送信完了
P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F																																						
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																																			
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																																			
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																																			
先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード																																			
処理点数指定	W:i_wReadByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー																																			
結果受信	B:i_bReception	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																																			
読み出しデータ (間接アドレス指定)	D:io_dReadData	io_dReadData:D	読み出しデータ (間接アドレス指定)																																			
		o_bIDComEnd:B	ID送信完了																																			
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																				
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
		シリーズ	モデル																																			
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																				
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																					
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																					
記述言語	ラダー																																					
ステップ数	1094Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																					



項目	内容																													
機能説明	<p>① i_bEN(実行指令)の ON で、ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wReadByte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを読み出します。読み出したデータは、io_dReadData(読み出しデータ間接アドレス指定)で指定した先頭デバイスから格納されます。読み出しが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p> 																													
	<p>② P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位, 1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。</p> <p>(例)</p> <p>0: 上位→下位</p> <table border="1" data-bbox="430 1254 845 1433"> <thead> <tr> <th>ID タグの アドレス</th> <th>メモリ</th> <th>CPU ユニットの デバイス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0010</td> <td>Data1</td> <td>Data1 : Data2</td> </tr> <tr> <td>0011</td> <td>Data2</td> <td>Data3 : Data4</td> </tr> <tr> <td>0012</td> <td>Data3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0013</td> <td>Data4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1: 下位→上位</p> <table border="1" data-bbox="909 1254 1324 1433"> <thead> <tr> <th>ID タグの アドレス</th> <th>メモリ</th> <th>CPU ユニットの デバイス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0010</td> <td>Data1</td> <td>Data2 : Data1</td> </tr> <tr> <td>0011</td> <td>Data2</td> <td>Data4 : Data3</td> </tr> <tr> <td>0012</td> <td>Data3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0013</td> <td>Data4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③ P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した通信指定が 2(リポートオート), 4(FIFO リポート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>④ エラーの場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥ 読み出し処理中に i_bEN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dReadData(読み出しデータ間接アドレス指定)で指定したデバイスには中断するまで読み出したデータを格納します。</p>	ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス	0010	Data1	Data1 : Data2	0011	Data2	Data3 : Data4	0012	Data3		0013	Data4		ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス	0010	Data1	Data2 : Data1	0011	Data2	Data4 : Data3	0012	Data3		0013	Data4
ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス																												
0010	Data1	Data1 : Data2																												
0011	Data2	Data3 : Data4																												
0012	Data3																													
0013	Data4																													
ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス																												
0010	Data1	Data2 : Data1																												
0011	Data2	Data4 : Data3																												
0012	Data3																													
0013	Data4																													

項目	内容
インデックスレジスタ	使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではデータレジスタ D5000~D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのリードの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ io_dReadData(読出しデータ間接アドレス指定)には、読出したデータを格納するデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してください。</p> <p>⑩ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), i_wAddressNo(先頭アドレス指定), i_wReadByte(処理点数指定), io_dReadData (読出しデータ間接アドレス指定)の値を変更しないでください。</p> <p>⑪ P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ), 1(オート), 3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p> <p>⑮ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)





項目	内容	
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b> (トリガ, オート, FIFO トリガ)</p>	<p><b>【正常終了の場合】</b> (リピートオート, FIFO リピート)</p>
	<p><b>【異常終了の場合】</b></p>	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p>
	<p>関連マニュアル ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)</p>	

## ■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H103	i_wReadByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~2048 (10進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読出し可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

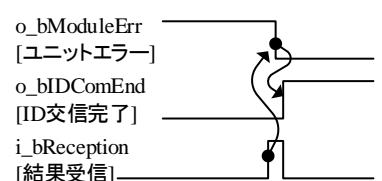


■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10 進数)	対象 CC-Link システムマスタ・ インテリジェントデバイスユニットのユ ニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指 定してください) 詳細は CPU のユーザーズマニユア ルを参照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28 (10 進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を 指定します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は 使用機器やバージョンによって異な ります。1.4 節を参照してください。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード [符号付き]	0000~FFFF (16 進数)	ID タグから読出しを行う先頭アドレ スを指定します。
処理点数指定	i_wReadByte	ワード [符号付き]	【トリガの場合】 0001~2048 (10 進数) 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読出し 可能なデータ量によりま す。詳細範囲は, ECL2- V680D1 ユーザーズマニ ユアル(詳細編)を参照し てください。	ID タグから読出しを行う処理バイト 数を指定します。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグから読出し処理を行 う命令を実行した際, 次の結果を受 信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始しま す。



## ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 送信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が送信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 

## ■入出カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
読出しデータ (間接アドレス指定)	io_dReadData	ダブル ワード [符号付き]	00000000～ FFFFFFFF (16 進数)	読出したデータを格納するデバイスの間接アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してください。

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

## お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

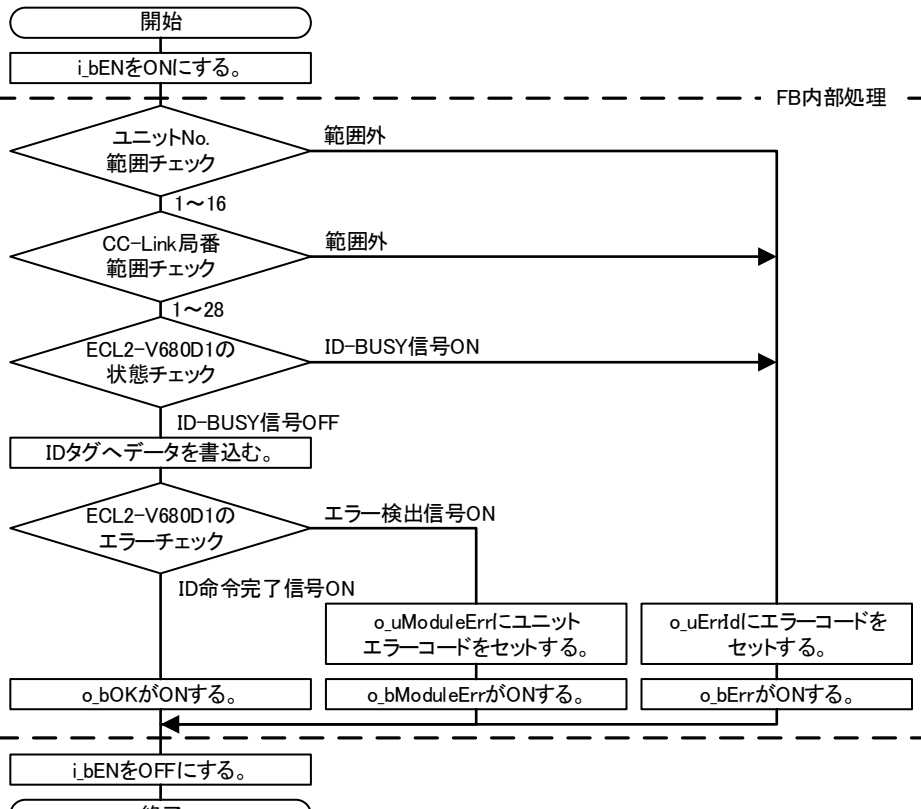
### 2.3. P+MEE-ECL2-V680D1\_Write\_F (ID タグのライト)

名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_Write\_F

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	ID タグヘータを書込みます。																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td>B:i_bEN</td> <td>o_bENO:B</td> <td>実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td>W:i_wModuleNo</td> <td>o_bOK:B</td> <td>正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td>W:i_wStationNo</td> <td>o_bErr:B</td> <td>異常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">先頭アドレス指定</td> <td>W:i_wAddressNo</td> <td>o_uErrId:UW</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理点数指定</td> <td>W:i_wWriteByte</td> <td>o_bModuleErr:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">書き込みデータ (間接アドレス指定)</td> <td>D:i_dWriteData</td> <td>o_uModuleErr:UW</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td>B:i_bReception</td> <td>o_bIDComEnd:B</td> <td>ID送信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了	先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード	処理点数指定	W:i_wWriteByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー	書き込みデータ (間接アドレス指定)	D:i_dWriteData	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	結果受信	B:i_bReception	o_bIDComEnd:B	ID送信完了
P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F																																		
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																															
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																															
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																															
先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード																															
処理点数指定	W:i_wWriteByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー																															
書き込みデータ (間接アドレス指定)	D:i_dWriteData	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																															
結果受信	B:i_bReception	o_bIDComEnd:B	ID送信完了																															
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																												
		シリーズ	モデル																															
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																													
	シリーズ	モデル																																
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																													
シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
記述言語	ラダー																																	
ステップ数	1368Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																	

項目	内容																													
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で, i_dWriteData(書込みデータ間接アドレス指定)で指定した先頭デバイスから格納されたデータを ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wWriteByte(処理点数指定)で指定されたバイト数書込みます。 書込みが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p> 																													
	<p>②P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位, 1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例)</p> <p>0: 上位→下位</p> <table border="1" data-bbox="414 1276 877 1478"> <thead> <tr> <th>CPU ユニットのデバイス</th> <th>ID タグのアドレス</th> <th>ID タグのメモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data1 : Data2</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td>Data3 : Data4</td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0012</td> <td>Data3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0013</td> <td>Data4</td> </tr> </tbody> </table> <p>1: 下位→上位</p> <table border="1" data-bbox="957 1276 1420 1478"> <thead> <tr> <th>CPU ユニットのデバイス</th> <th>ID タグのアドレス</th> <th>ID タグのメモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data2 : Data1</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td>Data4 : Data3</td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0012</td> <td>Data3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0013</td> <td>Data4</td> </tr> </tbody> </table> <p>③P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 2(リポートオート), 4(FIFO リポート)のときは, i_bReception(結果受信)の ON で, 次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>④エラーの場合は, o_bErr(異常完了)が ON し, FB の処理を中断します。また, o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は, エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は, o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し, 処理を中断します。また, o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は, ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥書込み処理中に i_bEN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書込み中であれば中断するまでのデータが書込まれます。</p>	CPU ユニットのデバイス	ID タグのアドレス	ID タグのメモリ	Data1 : Data2	0010	Data1	Data3 : Data4	0011	Data2		0012	Data3		0013	Data4	CPU ユニットのデバイス	ID タグのアドレス	ID タグのメモリ	Data2 : Data1	0010	Data1	Data4 : Data3	0011	Data2		0012	Data3		0013
CPU ユニットのデバイス	ID タグのアドレス	ID タグのメモリ																												
Data1 : Data2	0010	Data1																												
Data3 : Data4	0011	Data2																												
	0012	Data3																												
	0013	Data4																												
CPU ユニットのデバイス	ID タグのアドレス	ID タグのメモリ																												
Data2 : Data1	0010	Data1																												
Data4 : Data3	0011	Data2																												
	0012	Data3																												
	0013	Data4																												

項目	内容
インデックスレジスタ	使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割り込みプログラムを使用する場合は、割り込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではデータレジスタ D5000~D5001 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当該データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのライトの交信指定、交信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ i_dWriteData(書込みデータ間接アドレス指定)には、書込むデータを格納したデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してください。</p> <p>⑩ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), i_wAddressNo(先頭アドレス指定), i_wWriteByte(処理点数指定), i_dWriteData(書込みデータ間接アドレス指定)の値を変更しないでください。</p> <p>⑪ P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した交信指定が 0(トリガ), 1(オート), 3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認してください。</p> <p>⑮ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容	
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b> (トリガ, オート, FIFO トリガ)</p>	<p><b>【正常終了の場合】</b> (リピートオート, FIFO リピート)</p>
	<p><b>【異常終了の場合】</b></p>	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p>
	<p>関連マニュアル ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)</p>	



## ■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H103	i_wWriteByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~2048 (10進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書込み可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。



■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10 進数)	対象 CC-Link システムマスタ・ インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してく ださい) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参 照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10 進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定し ます。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用 機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード [符号付き]	0000~FFFF (16 進数)	ID タグへ書き込みを行う先頭アドレスを指定 します。
処理点数指定	i_wWriteByte	ワード [符号付き]	【トリガの場合】 0001~2048(10 進 数) 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で 書き込み可能なデ ータ量によりま す。 詳細範囲は、 ECL2-V680D1 ユ ーザーズマニユア ル(詳細編) を参照してくださ い。	ID タグへ書き込みを行う処理バイト数を指 定します。
書き込みデータ (間接アドレス指定)	i_dWriteData	ダブル ワード [符号付き]	00000000~ FFFFFFFF (16 進数)	書き込むデータを格納したデバイスの間接ア ドレスを指定してください。 間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してく ださい。 書き込みデータは、i_wWriteByte(処理点数 指定)で指定したバイト数のデータを書込 みます。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグへ書き込み処理を行う命令を 実行した際、次の結果を受信するために パルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。



## ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 交信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

## お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 2.4. P+MEE-ECL2-V680D1\_Fill\_F (ID タグのデータフィル)

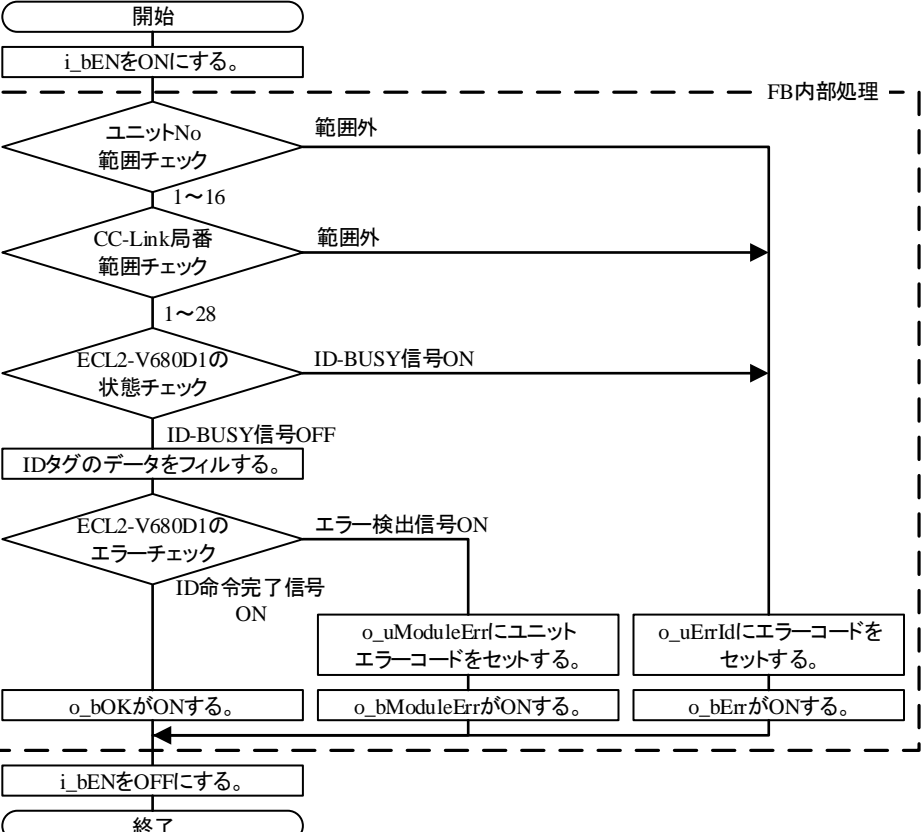
名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_Fill\_F

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	指定したデータで ID タグを初期化します。																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bEN</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wModuleNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wStationNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">先頭アドレス指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wAddressNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理点数指定</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wFillByte</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bModuleErr:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">フィルデータ</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wFillData</td> <td style="border: 1px solid black;">o_uModuleErr:UW</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bReception</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bIDComEnd:B</td> <td style="text-align: left;">ID交信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了	先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード	処理点数指定	W:i_wFillByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー	フィルデータ	W:i_wFillData	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	結果受信	B:i_bReception	o_bIDComEnd:B	ID交信完了
P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F																																		
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																															
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																															
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																															
先頭アドレス指定	W:i_wAddressNo	o_uErrId:UW	エラーコード																															
処理点数指定	W:i_wFillByte	o_bModuleErr:B	ユニットエラー																															
フィルデータ	W:i_wFillData	o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																															
結果受信	B:i_bReception	o_bIDComEnd:B	ID交信完了																															
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																												
		シリーズ	モデル																															
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																													
	シリーズ	モデル																																
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																													
シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
記述言語	ラダー																																	
ステップ数	1159Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																	



項目	内容																																																									
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wFillByte(処理点数指定)で指定されたバイト数を i_wFillData(フィルデータ)でフィルします。 フィルが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p> 																																																									
	<p>②P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位, 1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例) 0: 上位→下位 1: 下位→上位</p> <table border="1" data-bbox="414 1265 1436 1467"> <thead> <tr> <th colspan="2">フィルデータ</th> <th rowspan="2">アドレス</th> <th colspan="2">ID タグのメモリ</th> <th colspan="2">フィルデータ</th> <th rowspan="2">アドレス</th> <th colspan="2">ID タグのメモリ</th> </tr> <tr> <th>Data1</th> <th>Data2</th> <th>Data1</th> <th>Data2</th> <th>Data2</th> <th>Data1</th> <th>Data1</th> <th>Data2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> <td></td> <td colspan="2">→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 2(リポートオート), 4(FIFO リポート)のときは, i_bReception(結果受信)の ON で, 次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>④エラーの場合は, o_bErr(異常完了)が ON し, FB の処理を中断します。また, o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は, エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は, o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し, 処理を中断します。また, o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は, ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥フィル処理中に i_bEN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書き込み中であれば最後まで書込まれます。</p>	フィルデータ		アドレス	ID タグのメモリ		フィルデータ		アドレス	ID タグのメモリ		Data1	Data2	Data1	Data2	Data2	Data1	Data1	Data2	→		0010	Data1		→		0010	Data1				0011	Data2				0011	Data2				0012	Data1				0012	Data1				0013	Data2				0013	Data2
フィルデータ		アドレス	ID タグのメモリ		フィルデータ		アドレス	ID タグのメモリ																																																		
Data1	Data2		Data1	Data2	Data2	Data1		Data1	Data2																																																	
→		0010	Data1		→		0010	Data1																																																		
		0011	Data2				0011	Data2																																																		
		0012	Data1				0012	Data1																																																		
		0013	Data2				0013	Data2																																																		

項目	内容
インデックスレジスタ	使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</li> <li>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</li> <li>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</li> <li>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</li> <li>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</li> <li>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</li> <li>⑦ ID タグのデータフィルの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(インシタルデータ設定)で指定してください。</li> <li>⑧ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), i_wAddressNo(先頭アドレス指定), i_wFillByte(処理点数指定), i_wFillData(フィルデータ)の値を変更しないでください。</li> <li>⑨ P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(インシタルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ), 1(オート), 3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</li> <li>⑩ データフィルでは、ID タグの全データ初期化を行うために、ライトプロテクト機能は動作しません。</li> <li>⑪ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</li> <li>⑫ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</li> <li>⑬ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(インシタルデータ設定)が完了しているか確認ください。</li> <li>⑭ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</li> </ol>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容	
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b> (トリガ, オート, FIFO トリガ)</p>	<p><b>【正常終了の場合】</b> (リピートオート, FIFO リピート)</p>
	<p><b>【異常終了の場合】</b></p>	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p>
	<p>関連マニュアル ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)</p>	

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

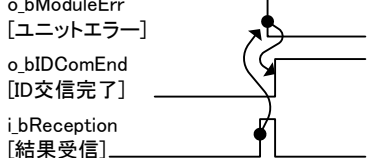
名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10進数)	対象 CC-Link システムマスタ・インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してください) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード [符号付き]	0000~FFFF (16進数)	ID タグヘフィルを行う先頭アドレスを指定します。
処理点数指定	i_wFillByte	ワード [符号付き]	0001~2048, 0 (10進数) 対象 ID タグのメモリ容量によります。 詳細範囲は, ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。	ID タグヘフィルを行う処理バイト数を指定します。 0: ID タグの全データをフィルします。
フィルデータ	i_wFillData	ワード [符号付き]	0000~FFFF (16進数)	フィルするデータを指定してください。 フィルは, i_wFillByte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを書込みます。





名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグへフィル処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。

#### ■出カバベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON: RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 交信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 

#### FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

#### お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 2.5. P+MEE-ECL2-V680D1\_UIDRead\_F (ID タグの UID リード)

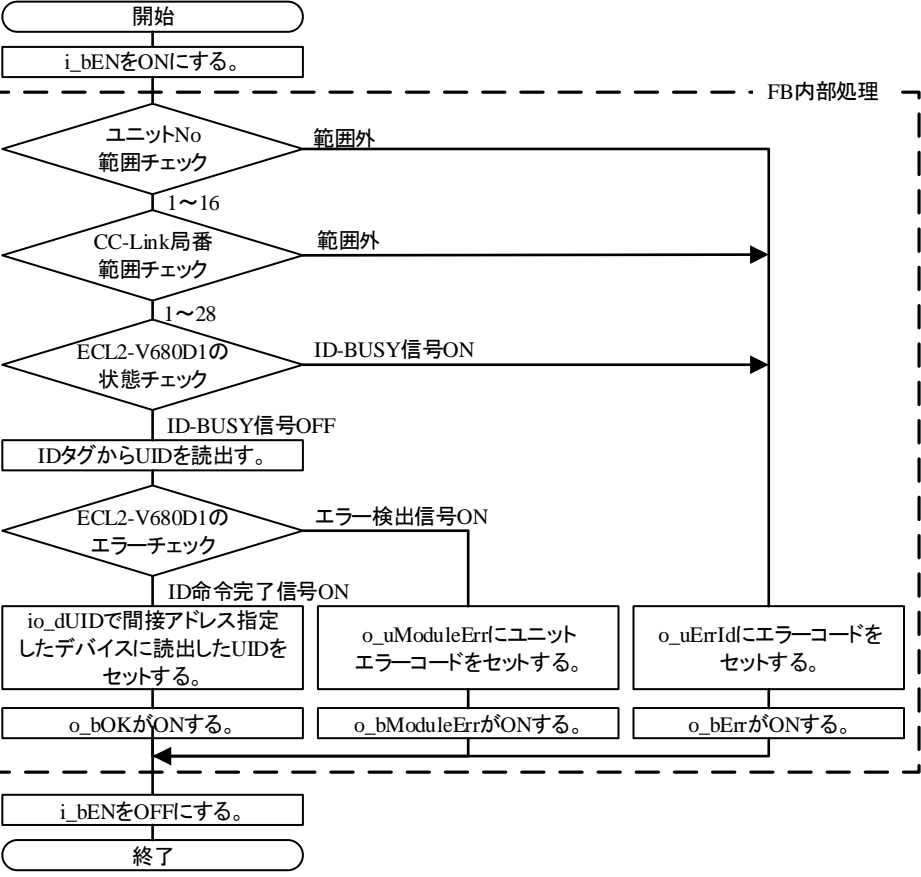
名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_UIDRead\_F

機能内容

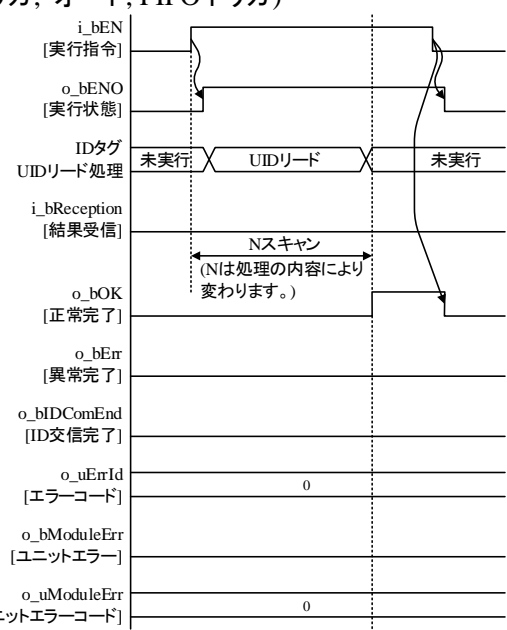
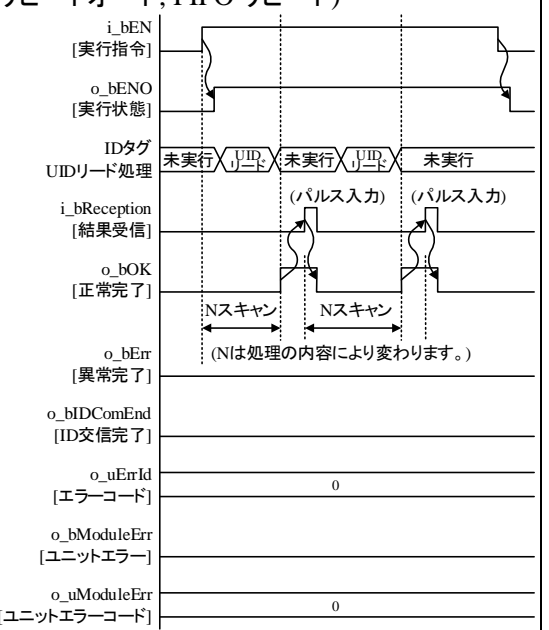
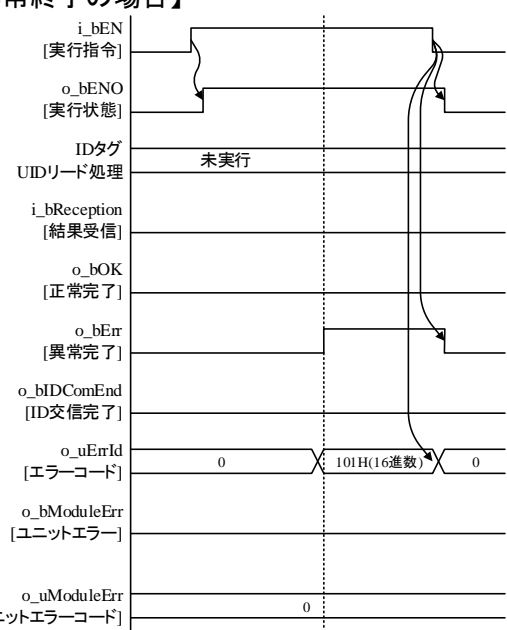
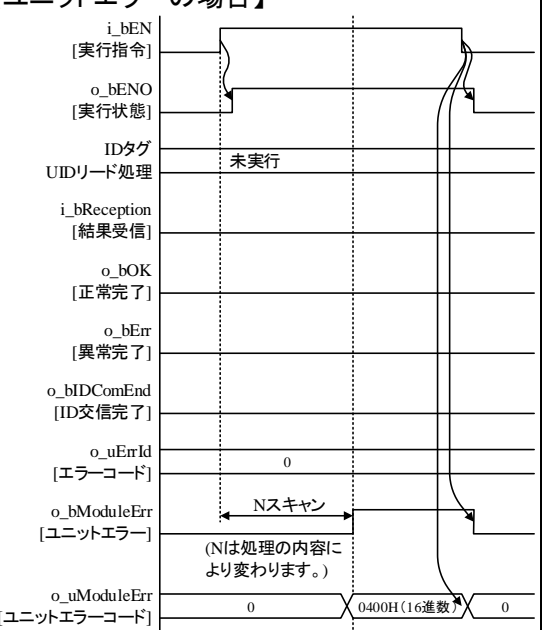
項目	内容																																					
機能概要	ID タグの UID(個別識別番号)を読み出します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="text-align: center;">B:i_bEN</td> <td style="text-align: center;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td style="text-align: center;">W:i_wModuleNo</td> <td style="text-align: center;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="text-align: center;">W:i_wStationNo</td> <td style="text-align: center;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td style="text-align: center;">B:i_bReception</td> <td style="text-align: center;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">o_bModuleErr:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">o_uModuleErr:UW</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">IDタグUID (間接アドレス指定)</td> <td style="text-align: center;">io_dUID:D</td> <td style="text-align: center;">io_dUID:D</td> <td style="text-align: left;">IDタグUID (間接アドレス指定)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">o_bIDComEnd:B</td> <td style="text-align: left;">ID送信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了	結果受信	B:i_bReception	o_uErrId:UW	エラーコード			o_bModuleErr:B	ユニットエラー			o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	IDタグUID (間接アドレス指定)	io_dUID:D	io_dUID:D	IDタグUID (間接アドレス指定)			o_bIDComEnd:B	ID送信完了
P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F																																						
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																																			
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																																			
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																																			
結果受信	B:i_bReception	o_uErrId:UW	エラーコード																																			
		o_bModuleErr:B	ユニットエラー																																			
		o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																																			
IDタグUID (間接アドレス指定)	io_dUID:D	io_dUID:D	IDタグUID (間接アドレス指定)																																			
		o_bIDComEnd:B	ID送信完了																																			
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																				
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
	シリーズ	モデル																																				
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																				
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSECiQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSECiQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
シリーズ	モデル																																					
MELSECiQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																					
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																					
記述言語	ラダー																																					
ステップ数	1220Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																					



項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、ID タグの UID を読みます。読み出した UID は io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス指定)で指定した先頭デバイスから格納されます。 読み出しが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p>  <p>②P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 2(リピートオート), 4(FIFO リピート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>③エラーの場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>④ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑤読み出し処理中に i_bEN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス指定)で指定したデバイスには読み出したデータを格納しません。</p>
インデックスレジスタ	<p>使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</li> <li>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</li> <li>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</li> <li>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</li> <li>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</li> <li>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</li> <li>⑦ 本 FB ではデータレジスタ D5000~D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当データレジスタを使用しないでください。</li> <li>⑧ ID タグの UID リードの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定してください。</li> <li>⑨ io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス指定)には、読出した UID を格納するデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADDRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してください。</li> <li>⑩ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス指定)の値を変更しないでください。</li> <li>⑪ P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ), 1(オート), 3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</li> <li>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</li> <li>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</li> <li>⑭ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</li> <li>⑮ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</li> </ul>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容	
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b> (トリガ, オート, FIFO トリガ)</p> 	<p><b>【正常終了の場合】</b> (リピートオート, FIFO リピート)</p> 
	<p><b>【異常終了の場合】</b></p> 	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p> 
	<p>関連マニュアル ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)</p>	

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

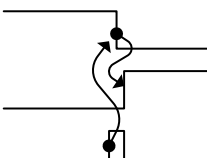
## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10進数)	対象 CC-Link システムマスタ・インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してください) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグから UID の読出し処理を行う命令を実行した際, 次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。



## ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 送信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が送信を打ち切る際, i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。  

## ■入出カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
ID タグ UID (間接アドレス指定)	io_dUID	ダブル ワード [符号付き]	00000000～ FFFFFFFF (16 進数)	ID タグの UID を格納するデバイスの間接アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してください。 ID タグの UID を, 間接アドレスで指定したデバイスから 4 ワード分格納します。

### FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

### お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 2.6. P+MEE-ECL2-V680D1\_MeasureNoise\_F (ノイズ測定)

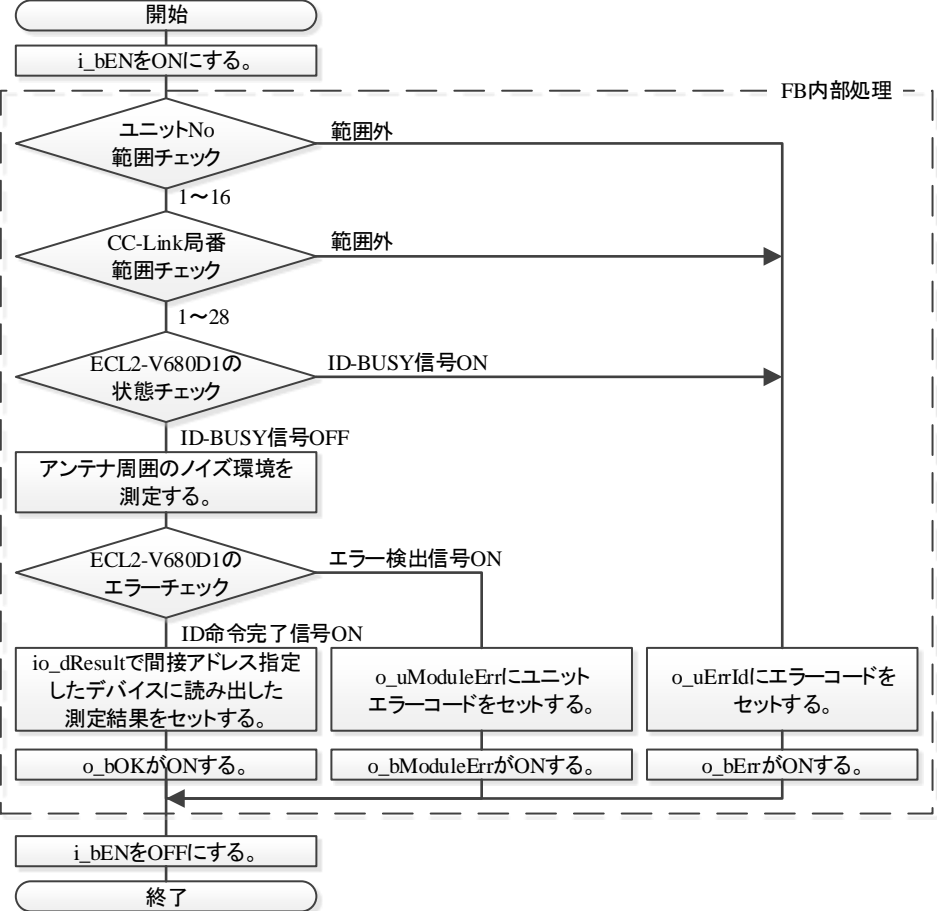
名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_MeasureNoise\_F

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bEN</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニットNo.</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wModuleNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wStationNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_bModuleErr:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_uModuleErr:UW</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">測定結果 (間接アドレス指定)</td> <td style="border: 1px solid black;">D:io_dResult</td> <td style="border: 1px solid black;">io_dResult:D</td> <td style="text-align: left;">測定結果 (間接アドレス指定)</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了			o_uErrId:UW	エラーコード			o_bModuleErr:B	ユニットエラー			o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード	測定結果 (間接アドレス指定)	D:io_dResult	io_dResult:D	測定結果 (間接アドレス指定)
P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F																																		
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																															
ユニットNo.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																															
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																															
		o_uErrId:UW	エラーコード																															
		o_bModuleErr:B	ユニットエラー																															
		o_uModuleErr:UW	ユニットエラーコード																															
測定結果 (間接アドレス指定)	D:io_dResult	io_dResult:D	測定結果 (間接アドレス指定)																															
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																												
	シリーズ	モデル																																
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																													
シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																													
シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
記述言語	ラダー																																	
ステップ数	1008Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																	



項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。測定結果は io_dResult(測定結果間接アドレス指定)で指定した先頭デバイスから格納されます。測定が完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p>  <p>②エラーの場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECL2-V680D1 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>④ノイズ測定中に i_bEN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dResult(測定結果間接アドレス指定)で指定したデバイスにはデータを格納しません。</p>
インデックスレジスタ	<p>使用点数：5点 使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</li> <li>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</li> <li>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</li> <li>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</li> <li>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</li> <li>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</li> <li>⑦ 本 FB ではデータレジスタ D5000~D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当データレジスタを使用しないでください。</li> <li>⑧ io_dResult(測定結果間接アドレス指定)には、ノイズ測定結果を格納するエリアの先頭デバイスアドレスを必ず指定してください。省略はできません。</li> <li>⑨ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番), io_dResult(測定結果間接アドレス指定)の値を変更しないでください。</li> <li>⑩ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</li> <li>⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</li> <li>⑫ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</li> </ul>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容
入出力信号の動き	<p><b>【正常終了の場合】</b></p>
	<p><b>【異常終了の場合】</b></p>
	<p><b>【ユニットエラーの場合】</b></p>
関連マニュアル	ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10 進数)	対象 CC-Link システムマスター・ インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してく ださい) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参 照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10 進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定しま す。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機 器やバージョンによって異なります。1.4 節 を参照してください。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格 納します。

■入出カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
測定結果 (間接アドレス指定)	io_dResult	ダブル ワード [符号付き]	00000000~ FFFFFFF (16 進数)	ノイズ測定の測定結果を格納するデバイ スの間接アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.8 節を参照してく ださい。 ノイズ測定の結果を、間接アドレス指定した デバイスから 3 ワード分格納します。 格納エリア +0 平均値 0~99(10 進数) +1 最大値 0~99(10 進数) +2 最小値 0~99(10 進数)

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

### お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 2.7. P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataRead\_F (イニシャルデータリード)

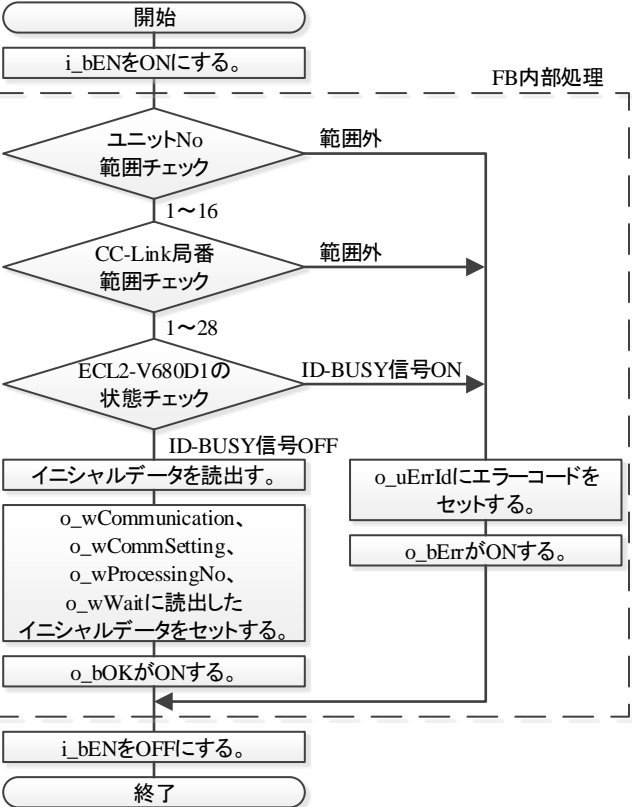
名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataRead\_F

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	イニシャルデータを読み出します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:i_bEN</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニット No.</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wModuleNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bOK:B</td> <td style="text-align: left;">正常完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_wStationNo</td> <td style="border: 1px solid black;">o_bErr:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_uErrId:UW</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_wCommunication:W</td> <td style="text-align: left;">交信指定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_wCommSetting:W</td> <td style="text-align: left;">交信設定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_wProcessingNo:W</td> <td style="text-align: left;">処理指定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;">o_wWait:W</td> <td style="text-align: left;">オート系コマンド 待ち時間設定</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F				実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態	ユニット No.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了			o_uErrId:UW	エラーコード			o_wCommunication:W	交信指定			o_wCommSetting:W	交信設定			o_wProcessingNo:W	処理指定			o_wWait:W	オート系コマンド 待ち時間設定
P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F																																						
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	実行状態																																			
ユニット No.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	正常完了																																			
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B	異常完了																																			
		o_uErrId:UW	エラーコード																																			
		o_wCommunication:W	交信指定																																			
		o_wCommSetting:W	交信設定																																			
		o_wProcessingNo:W	処理指定																																			
		o_wWait:W	オート系コマンド 待ち時間設定																																			
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																																				
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																
	シリーズ	モデル																																				
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																																				
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																	
シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																																					
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																	
シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																																					
記述言語	ラダー																																					
ステップ数	909Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																					



項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、イニシャルデータを読み出します。読出したデータは o_wCommunication(交信指定), o_wCommSetting(交信設定), o_wProcessingNo(処理指定), o_wWait(オート系コマンド待ち時間設定)にセットします。読出しが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p>  <p>②エラーの場合は, o_bErr(異常完了)が ON し, FB の処理を中断します。また, o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は, エラーコード一覧を参照してください。</p>
インデックスレジスタ	<p>使用点数 : 5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は, 割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo (ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番)の値を変更しないでください。</p> <p>⑧ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑨ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p> <p>⑩ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【正常終了の場合】</b></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【異常終了の場合】</b></p> </div> </div>
関連マニュアル	ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)

## エラーコード

### ■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。



## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10 進数)	対象 CC-Link システムマスタ・ インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定し てください) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを 参照してください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10 進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定 します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使 用機器やバージョンによって異なりま す。1.4 節を参照してください。

### ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
交信指定	o_wCommunication	ワード [符号付き]	0	ID タグに対する交信方法が格納されます。 0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFO トリガ 4:FIFO リピート



名称	変数名	データ型	初期値	説明												
交信設定	o_wCommSetting	ワード [符号付き]	0	<p>ID タグに対する交信設定が格納されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり</td> </tr> <tr> <td>4~15</td> <td>0: 固定</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード	2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効	3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり	4~15	0: 固定
ビット	内容															
0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない															
1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード															
2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効															
3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり															
4~15	0: 固定															
処理指定	o_wProcessingNo	ワード [符号付き]	0	<p>ID タグに対するコマンドのデータ処理方法を格納します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>処理指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リード</td> <td rowspan="3">データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位</td> </tr> <tr> <td>ライト</td> </tr> <tr> <td>データフィル</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は、各コマンドの機能説明を参照してください。 上記コマンド以外は、処理指定を使用しません。</p>	コマンド	処理指定	リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位	ライト	データフィル						
コマンド	処理指定															
リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位															
ライト																
データフィル																



名称	変数名	データ型	初期値	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	o_wWait	ワード [符号付き]	0	<p>           交信指定がオート系コマンド(オート, リピートオート, FIFO リピート)の場合の, ID タグの検出待ち時間が 0.1 秒単位で格納されます。            (例えば 30 秒の場合, K300 が格納されます。)            ID タグからの応答があるまで検出待ちの場合は 0 が格納されます。            各 FB でコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。  <b>【オート, リピートオート, FIFO リピートの場合】</b> </p> <p> <b>【リピートオート, FIFO リピートの場合】</b> </p> <p>           i_bReception(結果受信)ON 前に設定した待ち時間が経過したときは, i_bReception(結果受信)ON 後に o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON します。         </p>

**FB のバージョンアップ履歴**

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

**お願い**

本章は FB の機能について記載しております。  
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
 ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

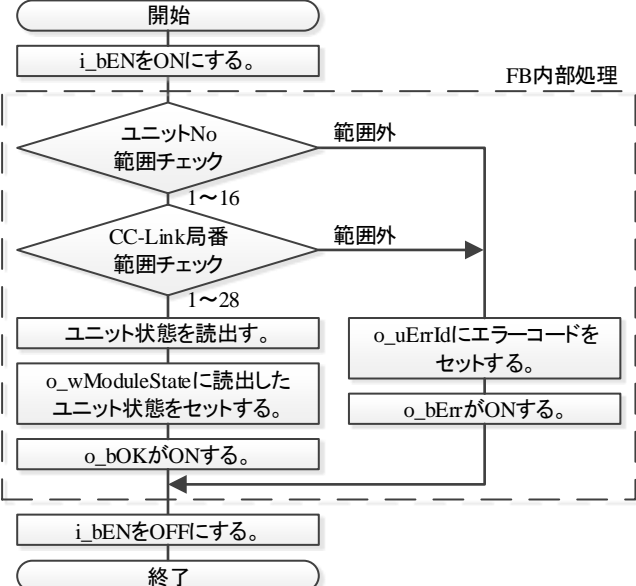
## 2.8. P+MEE-ECL2-V680D1\_StatusRead\_F (ユニット状態読出し)

名称

P+MEE-ECL2-V680D1\_StatusRead\_F

機能内容

項目	内容																			
機能概要	ユニット状態を読出します。																			
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行指令</td> <td style="text-align: center;">B:i_bEN</td> <td style="text-align: left;">o_bENO:B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">ユニット No.</td> <td style="text-align: center;">W:i_wModuleNo</td> <td style="text-align: left;">o_bOK:B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link局番</td> <td style="text-align: center;">W:i_wStationNo</td> <td style="text-align: left;">o_bErr:B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: left;">o_uErrId:UW</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: left;">o_wModuleState:W</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F			実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B	ユニット No.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B	CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B			o_uErrId:UW			o_wModuleState:W
P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F																				
実行指令	B:i_bEN	o_bENO:B																		
ユニット No.	W:i_wModuleNo	o_bOK:B																		
CC-Link局番	W:i_wStationNo	o_bErr:B																		
		o_uErrId:UW																		
		o_wModuleState:W																		
対象機器	対象ユニット	ECL2-V680D1																		
	対象 CC-Link システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5-CCL-MS</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS														
		シリーズ	モデル																	
	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5-CCL-MS																		
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>FX5U CPU FX5UC CPU</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU															
	シリーズ	モデル																		
MELSEC iQ-F シリーズ	FX5U CPU FX5UC CPU																			
GX Works3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC iQ-F シリーズ</td> <td>Version 1.042U 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Version 1.042U～Version 1.047Z 未満の場合、CC-Link の局番有効範囲は 1～24 局です。Version 1.047Z 以降にて 1～28 局となります。</p>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降															
シリーズ	モデル																			
MELSEC iQ-F シリーズ	Version 1.042U 以降																			
記述言語	ラダー																			
ステップ数	759Step(MELSEC iQ-F シリーズの場合) ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																			

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行指令)の ON で、ユニット状態を讀出します。讀出したユニット状態は o_wModuleState(ユニット状態)にセットします。 讀出しが完了すると o_bOK(正常完了)が ON します。</p>  <p>②本 FB は i_bEN(実行指令)の ON で 1 回のみ動作します。 ③エラーの場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>
インデックスレジスタ	<p>使用点数：5点使用デバイス番号 (Z9, Z8, Z7, Z6, Z5) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ② ユニットパラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.5 節に従って行ってください。 ③ グローバルラベルの設定を 1.6 節の内容に従って行ってください。 ④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。 ⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link 局番が重複しないように注意してください。 ⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ⑦ i_bEN(実行指令)ON 中は、i_wModuleNo(ユニット No.), i_wStationNo(CC-Link 局番)の値を変更しないでください。 ⑧ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。 ⑨ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStationNo(CC-Link 局番)がネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。 ⑩ 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【正常終了の場合】</b></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【異常終了の場合】</b></p> </div> </div>
	<p>関連マニュアル</p> <p>ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編) MELSEC iQ-F FX5 ユーザーズマニュアル(CC-Link 編)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード(16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。1.4 節を参照してください。

## 使用ラベル

### ■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット No.	i_wModuleNo	ワード [符号付き]	1~16(10 進数)	対象 CC-Link システムマスタ・ インテリジェントデバイスユニットのユニット No.を 10 進数で指定します。 (ユニット No.が 11 の場合, K11 を指定してくだ さい) 詳細は CPU のユーザーズマニュアルを参照し てください。
CC-Link 局番	i_wStationNo	ワード [符号付き]	1~28(10 進数)	接続する ECL2-V680D1 の局番を指定します。 指定出来る CC-Link 局番の範囲は使用機器 やバージョンによって異なります。1.4 節を参照 してください。

### ■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニット状態	o_wModuleState	ワード [符号付き]	0	RFID インタフェースユニットの状態を確認できます。 ビット 0: アンテナエラー 0: 正常, もしくはアンテナ未接続。 1: 設定アンテナと異なるアンテナが接続されています。 ビット 1: 未使用 ビット 2: テストモード 0: RUN モード中。 1: テストモード中。 ビット 3~15: 未使用

## FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2018/6/11	新規作成

## お願い

本章は FB の機能について記載しております。  
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。  
ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

## 付録 1. 安全上のご注意

本製品のご使用に際しては、本リファレンスマニュアルおよび本リファレンスマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本リファレンスマニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するマスタユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この●安全上のご注意●では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区分してあります。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本リファレンスマニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

### 【設計上の注意事項】

#### 警告

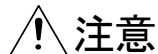
- データリンクが交信異常になったとき、マスタユニットのデータが保持されます。交信状態情報を使って、システムが安全側に働くようにシーケンスプログラム上でインタロック回路を構成してください。
- リモート入出力信号の中で、「使用禁止」の信号はシステムで使用しているためユーザで使わないでください。万一、ユーザで使用(ON/OFF)された場合、ユニットとしての機能は保証できません。

#### 注意

- RFIDインタフェースユニットとアンプ/アンテナ接続ケーブルの布設時は、主回路や動力線などと結束したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安に離してください。ノイズにより誤動作の原因となります。
- 保管時は、保存周囲温度/湿度を守り、保管してください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。
- 電気設備に関する教育を受け十分な知識を有する人間のみ制御盤を開けることができるよう、制御盤に鍵を掛けるようにしてください。
- 非常停止スイッチは作業者が操作できるように制御盤外に設けてください。



## 【取付け上の注意事項】



### 注意

- ユニットは、ユーザーズマニュアルに記載の一般仕様の環境で使用してください。  
一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- ユニットは、DINレールまたは取付けネジにて、確実に固定し、取付けネジの規定トルク範囲で確実に締め付けてください。  
ネジの締め付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。  
ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- ユニットの導電部分には直接触らないでください。  
ユニットの誤動作、故障の原因になります。

## 【配線上の注意事項】



### 警告

- 配線作業などは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、製品の損傷、誤動作の恐れがあります。



## 注意

- FG端子は、シーケンサ専用のD種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。  
感電、誤動作の恐れがあります。
- 空き端子ネジは必ず規定トルク範囲（0.42～0.58N・m）で締め付けてください。短絡の原因になります。
- 圧着端子は適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。  
先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。
- アンテナのケーブルはユニットのコネクタに確実に装着してください。  
装着後に、浮き上がりがないかチェックしてください。  
接触不良により、誤入力、誤出力の原因になります。
- ユニットに接続する通信ケーブルや電源ケーブルは、必ずダクトに納めるまたはクランプによる固定処理を行ってください。  
ケーブルをダクトに納めていない、またはクランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接触不良による誤動作の原因となります。
- ケーブル接続は、接続するインタフェースの種類を確認の上、正しく行ってください。  
異なったインタフェースに接続または誤配線すると、ユニット、外部機器の故障の原因となります。
- 端子ネジの締め付けは、規定トルク範囲で行ってください。  
端子ネジの締め付けがゆるいと、短絡、誤動作の原因になります。  
端子ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による短絡、誤動作の原因になります。
- ユニットに接続された通信ケーブルや電源ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。  
コネクタ付きのケーブルは、ユニットに接続部分のコネクタを手で持って取り外してください。  
端子台接続ケーブルは、端子台のネジを緩めてから取り外してください。  
ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると、ユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。
- 電源を入れた状態でのアンテナケーブルの着脱は行わないでください。  
故障の原因となります。
- ユニット内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。  
火災、故障、誤動作の原因になります。
- 制御線や通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。  
100mm以上を目安として離してください。  
ノイズにより、誤動作の原因になります。
- 外部供給電源は、+24Vと24Gの極性を逆に接続しないでください。  
RFIDインタフェースユニットが動作しません。

## 【立上げ・保守時の注意事項】

## 警告

- 通電中に端子に触れないでください。  
誤動作の原因になります。



## ⚠ 注意

- ユニットの分解、改造はしないでください。  
故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- ユニットの盤への取付け・取外しは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。  
全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 端子台の着脱は、製品ご使用後、50回以内としてください。(JIS B 3502準拠)  
なお、50回を超えた場合は、誤動作の原因となる恐れがあります。
- 清掃、端子ネジ、ユニット固定ネジの増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。  
全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。  
ネジの締め付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。  
ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- ユニットのケースは樹脂製ですので落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。  
ユニットの破損の原因になります。
- ユニットに触れる前には、必ず接地された金属などに触れて、人体などに帯電している静電気を放電してください。  
静電気を放電しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 清掃時、シンナー、ベンゼン、アセトン、灯油は使用しないでください。  
ユニットの破損の原因になります。
- ケースの隙間から水や針金を入れないでください。  
火災や感電の原因となります。
- 本製品は人体保護用の検出装置としては使用できません。  
誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。
- アンテナをアンブから着脱する際は、ユニットの電源を切ってから行ってください。  
ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 複数のアンテナを設置される場合は、相互干渉により交信性能が低下する恐れがあります。  
アンテナの取扱説明書に記載のアンテナ間の相互干渉を参照してください。
- 万一、製品に異常を感じた時には、すぐに使用を中止し、電源を切った上で、当社支店・営業所までご相談ください。  
そのまま使用すると、ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 化学薬品、油の飛散する場所で使用しないでください。  
ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 使用周囲温度、湿度を守り、使用してください。  
ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- 通電中は、コネクタに触らないでください。  
人体の静電気によるユニットの誤動作の原因になります。

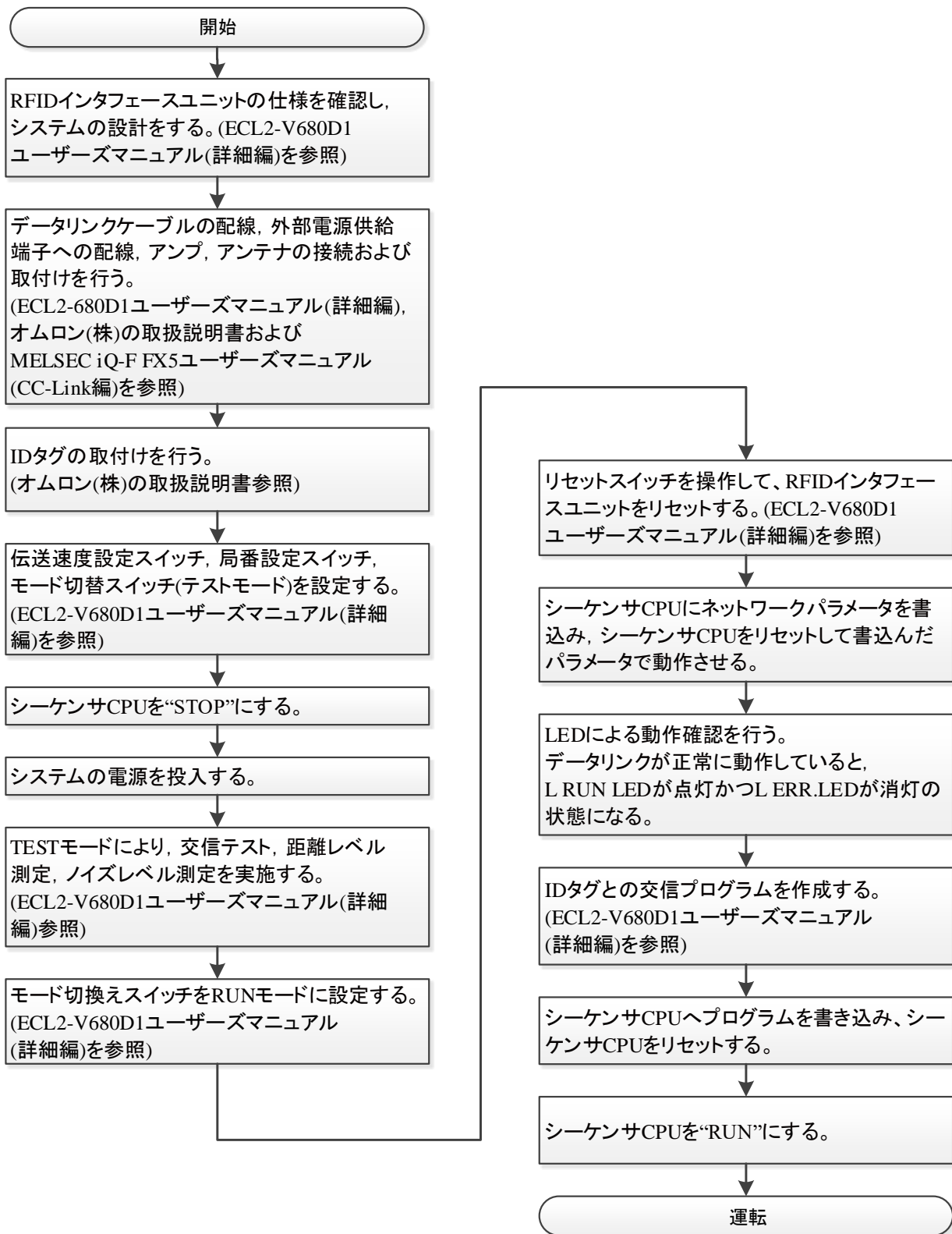
## 【廃棄時の注意事項】

## ⚠ 注意

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

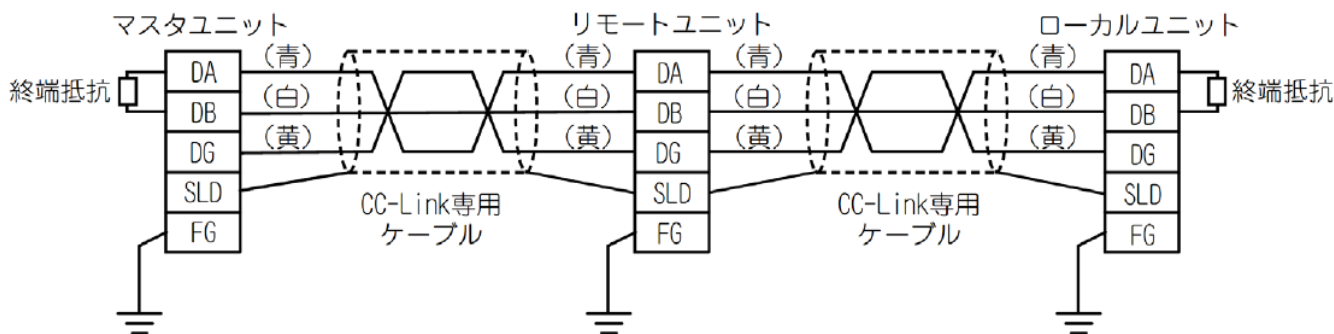


## 付録 2. 運転までの設定と手順



### 付録 3. 接続, 配線説明

- ・CC-Link 専用ケーブルは, 必ず指定のケーブルを使用してください。
- ・CC-Link ユニットおよび CC-Link 各局と制御盤内の FG ラインとの接続は, 下記のように FG 端子で行ってください。

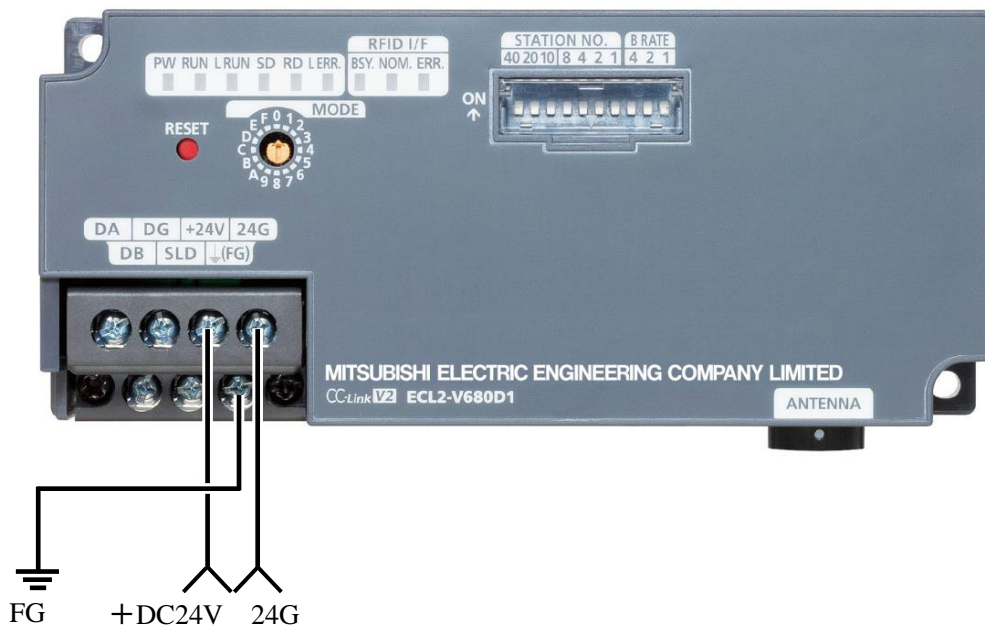


- ・ユニット電源および外部供給電源に接続する電源は, CE 適合品を使用してください。  
また, FG 端子は, 必ず接地してください。

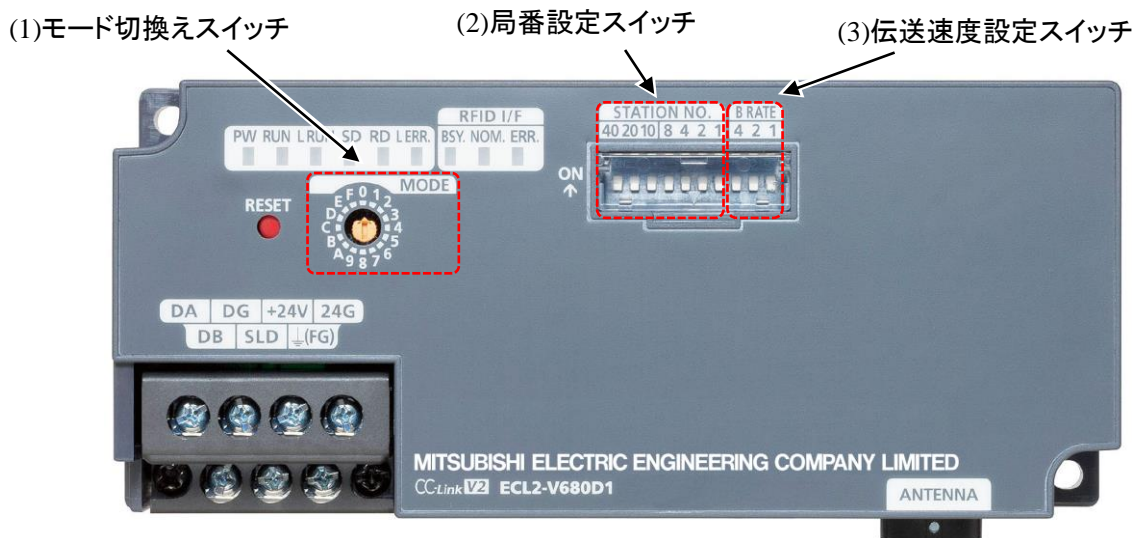
#### ポイント

データリンク上の両端のユニットには, 必ずマスタユニット付属の“終端抵抗”を接続してください。(DA-DB 間に接続)

電源供給端子の配線は下図のように行ってください。



## 付録 4. ハードウェア設定



### (1)モード切替えスイッチ

設定値	局種別	バージョン	占有局数	拡張サイクリック設定	リモート局点数
0	リモートデバイス局	Ver.1	4局占有	—	128点
4	リモートデバイス局	Ver.1	2局占有	—	64点
5	リモートデバイス局	Ver.2	2局占有	2倍設定	96点
6	リモートデバイス局	Ver.2	2局占有	4倍設定	192点
7	リモートデバイス局	Ver.2	2局占有	8倍設定	384点

### (2)局番設定スイッチ

局番	10の位			1の位			
	40	20	10	8	4	2	1
1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
:	:	:	:	:	:	:	:
25	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON
26	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
27	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON
28	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF

### (3)伝送速度設定スイッチ

設定値	設定スイッチ			伝送速度
	4	2	1	
0	OFF	OFF	OFF	156kbps
1	OFF	OFF	ON	625kbps
2	OFF	ON	OFF	2.5Mbps
3	OFF	ON	ON	5.0Mbps
4	ON	OFF	OFF	10Mbps

※設定の詳細は ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。

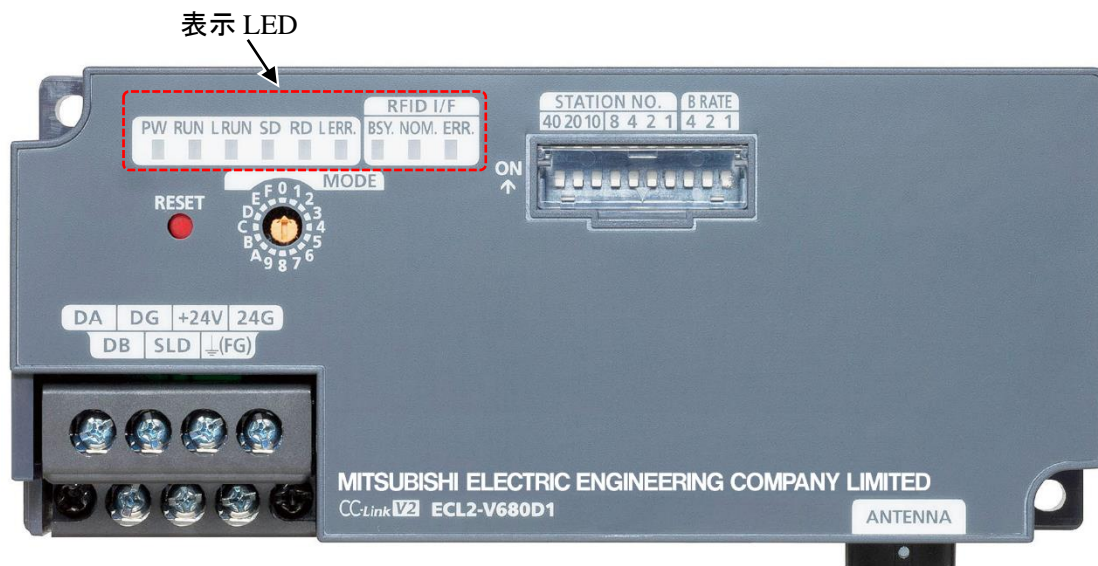


## 付録 5. 接続確認方法

以下の方法でシーケンサと ECL2-V680D1 の接続確認を行ってください。

- (1) 1.5. CC-Link システムマスタ局のユニットパラメータ設定を行う。
- (2) シーケンサと ECL2-V680D1 を接続する。
- (3) ECL2-V680D1 の表示 LED が以下の通りになっていることを確認する。

表示 LED	状態
PW	電源投入状態表示 点灯:電源 入
RUN	正常運転表示 点灯:RUN モードを正常運転中
L RUN	CC-Link データ受信状態表示 点灯:受信正常時
SD	CC-Link データ送信状態表示 点灯:データ送信中
RD	CC-Link データ送信状態表示 点灯:データ受信中
L ERR.	CC-Link エラー表示 消灯:受信正常時
BSY.	動作状態表示 消灯:待機中
NOM.	受信完了状態表示 消灯:待機中または異常完了
ERR.	エラー有無表示 消灯:正常



## 付録 6. エラーコード一覧

エラーコードの一覧を以下に示します。

### エラーコード一覧

エラーコード (16進数)	内容	処置方法
H100	i_wModuleNo (ユニット No.)の指定が範囲外です。	ユニット No.は 1~16(10進数)を指定してください。
H101	i_wStationNo(CC-Link 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link 局番は 1~28(10進数)を指定してください。 ※指定できる CC-Link 局番の範囲は使用機器やバージョンによって異なります。詳細は 1.4 各種バージョンについてを参照してください。
H103	・P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F  i_wReadByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~2048 (10進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読み出し可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
	・P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F  i_wWriteByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~2048 (10進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書き込み可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、ECL2-V680D1 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
H110	ECL2-V680D1 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

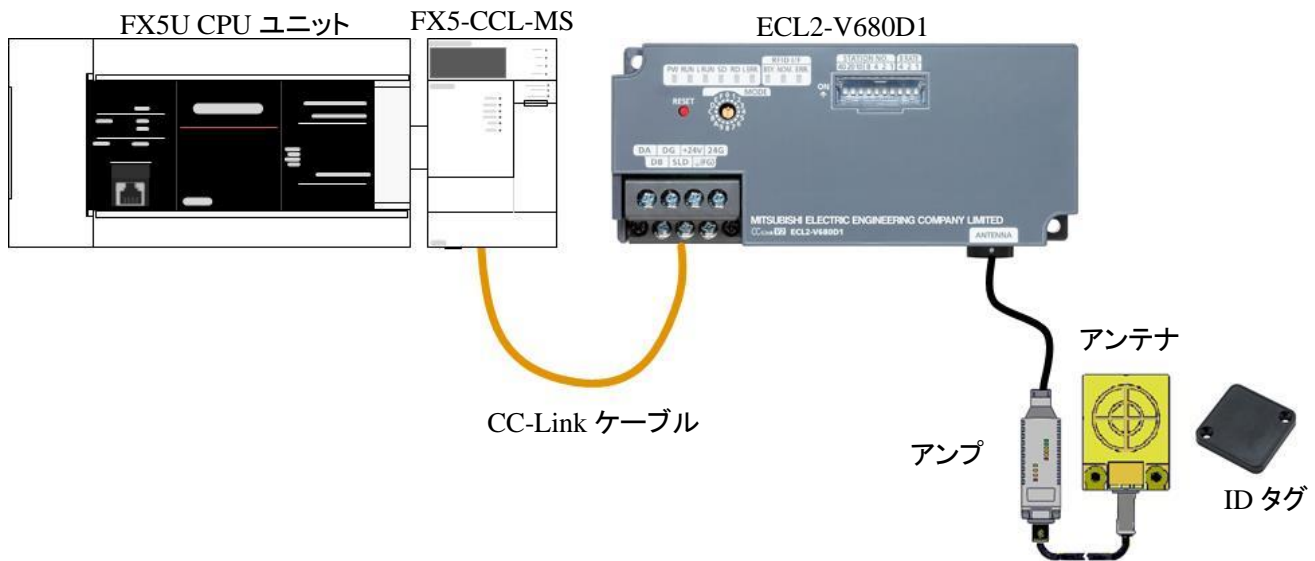




## 付録 7. FB ライブラリ使用例

CC-Link システムを利用して、ID タグヘデータ書込みをする場合の使用例です。

### (1)システム構成



### (2)デバイス使用一覧

#### ■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F	イニシャルデータ設定指令
M102		イニシャルデータ設定指令保持
M110	P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F	ID タグのリード指令
M111		ID タグのリード結果受信
M112		ID タグのリード指令保持
M120	P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F	ID タグのライト指令
M121		ID タグのライト結果受信
M122		ID タグのライト指令保持
M130	P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F	ID タグのデータフィル指令
M131		ID タグのデータフィル結果受信
M132		ID タグのデータフィル指令保持
M140	P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F	ID タグの UID リード指令
M141		ID タグの UID リード結果受信
M142		ID タグの UID リード指令保持
M150	P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F	ノイズ測定指令
M151		ノイズ測定指令保持
M160	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F	イニシャルデータリード指令
M161		イニシャルデータリード指令保持
M170	P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F	ユニット状態読出し指令
M171		ユニット状態読出し指令保持
M200	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F	インタロック用接点 (2 個以上の FB が同時に実行されないようにします。)

■外部入力(データ)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D2300～ D2301	P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F	ID タグに書込むデータを格納したデバイスの間接指定用デバイス
D2302～ D2305	P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F	ID タグに書込むデータを指定します。(最大 61 ワード)

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)	
D100	P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataSet_F	イニシャルデータ設定時, FB エラーコード格納	
D101		イニシャルデータ設定時, ユニットエラーコード格納	
M103		イニシャルデータ設定時, FB 実行中	
M104		イニシャルデータ設定時, FB 正常完了	
M105		イニシャルデータ設定時, FB 異常完了	
M106		イニシャルデータ設定時, ユニットエラー	
D110		P+MEE-ECL2-V680D1_Read_F	ID タグのリード時, FB エラーコード格納
D111	ID タグのリード時, ユニットエラーコード格納		
D1200～ D1201	読出したデータを格納するデバイスの間接指定用デバイス		
D1202～ D1205	ID タグから読出したデータを格納します。(最大 61 ワード)		
M113	ID タグのリード時, FB 実行中		
M114	ID タグのリード時, FB 正常完了		
M115	ID タグのリード時, FB 異常完了		
M116	ID タグのリード時, ユニットエラー		
M117	ID タグのリード時, ID 送信完了		
D120	P+MEE-ECL2-V680D1_Write_F		ID タグのライト時, FB エラーコード格納
D121			ID タグのライト時, ユニットエラーコード格納
M123			ID タグのライト時, FB 実行中
M124			ID タグのライト時, FB 正常完了
M125			ID タグのライト時, FB 異常完了
M126			ID タグのライト時, ユニットエラー
M127			ID タグのライト時, ID 送信完了
D130	P+MEE-ECL2-V680D1_Fill_F		ID タグのデータフィル時, FB エラーコード格納
D131		ID タグのデータフィル時, ユニットエラーコード格納	
M133		ID タグのデータフィル時, FB 実行中	
M134		ID タグのデータフィル時, FB 正常完了	
M135		ID タグのデータフィル時, FB 異常完了	
M136		ID タグのデータフィル時, ユニットエラー	
M137		ID タグのデータフィル時, ID 送信完了	
D140	P+MEE-ECL2-V680D1_UIDRead_F	ID タグの UID リード時, FB エラーコード格納	
D141		ID タグの UID リード時, ユニットエラーコード格納	
D142～ D143		ID タグ UID を格納するデバイスの間接指定用デバイス	
D144～ D147		ID タグの UID リード時, ID タグ UID 格納 (4 ワード)	
M143		ID タグの UID リード時, FB 実行中	
M144		ID タグの UID リード時, FB 正常完了	
M145		ID タグの UID リード時, FB 異常完了	
M146		ID タグの UID リード時, ユニットエラー	
M147		ID タグの UID リード時, ID 送信完了	



デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)	
D150	P+MEE-ECL2-V680D1_MeasureNoise_F	ノイズ測定時, FB エラーコード格納	
D151		ノイズ測定時, ユニットエラーコード格納	
D152~ D153		ノイズ測定結果を格納するデバイスの間接指定用デバイス	
D154~ D156		ノイズ測定時, 測定結果格納 (3 ワード)	
M152		ノイズ測定時, FB 実行中	
M153		ノイズ測定時, FB 正常完了	
M154		ノイズ測定時, FB 異常完了	
M155		ノイズ測定時, ユニットエラー	
D160		P+MEE-ECL2-V680D1_InitDataRead_F	イニシャルデータリード時, FB エラーコード格納
D161			イニシャルデータリード時, 送信指定格納
D162	イニシャルデータリード時, 送信設定格納		
D163	イニシャルデータリード時, 処理指定格納		
D164	イニシャルデータリード時, オート系コマンド待ち時間設定格納		
M162	イニシャルデータリード時, FB 実行中		
M163	イニシャルデータリード時, FB 正常完了		
M164	イニシャルデータリード時, FB 異常完了		
D170	P+MEE-ECL2-V680D1_StatusRead_F	ユニット状態読出し時, FB エラーコード格納	
D171		ユニット状態読出し時, ユニット状態格納	
M172		ユニット状態読出し時, FB 実行中	
M173		ユニット状態読出し時, FB 正常完了	
M174		ユニット状態読出し時, FB 異常完了	

### (3)使用例 設定

#### ■共通設定

入出力項目	値	説明
ユニット No.	K1	通信を行う CC-Link システムマスタ・インテリジェントデバイスユニットが装着されているユニット No.を指定します。
CC-Link 局番	K1	接続する RFID システムの局番を入力します。

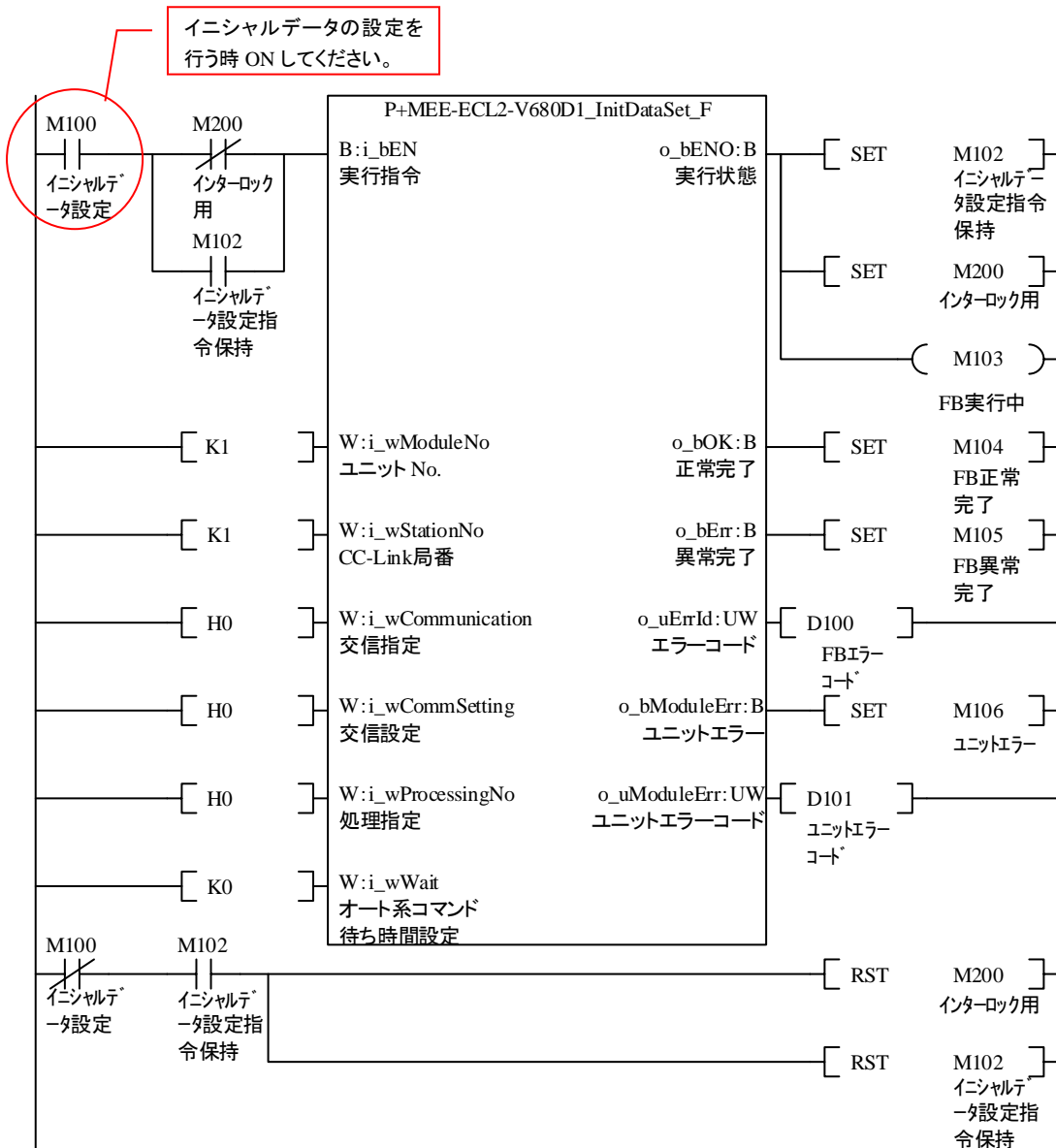


(4)プログラム

(a) P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataSet\_F (イニシャルデータ設定)

次の条件のイニシャルデータの設定を行います。

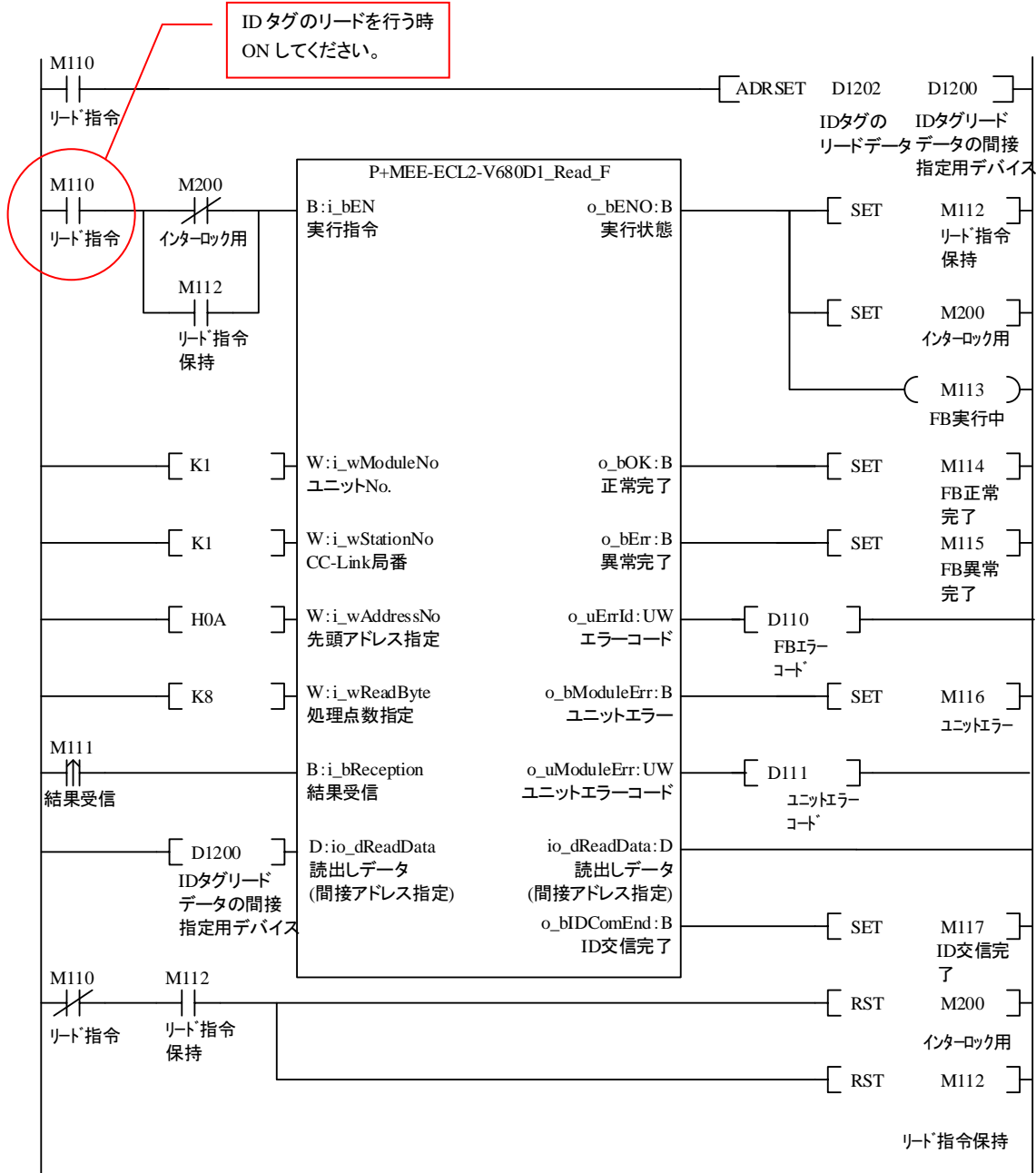
- ・ユニット No. .... 1
- ・CC-Link 局番 ..... 1
- ・交信指定 ..... 0 (トリガ)
- ・交信設定 ..... 0 (ライトベリファイ設定 : 実行する  
ID タグ交信速度設定 : 標準モード  
ライトプロテクト設定 : 有効  
リード/ライトデータコード設定 : ASCII/HEX 変換なし)
- ・処理指定 ..... 0
- ・オート系コマンド待ち時間設定 ..... 0 (ID タグから応答があるまで検出待ちをします。)



(b) P+MEE-ECL2-V680D1\_Read\_F (ID タグのリード)

次の条件の ID タグのリードを行います。

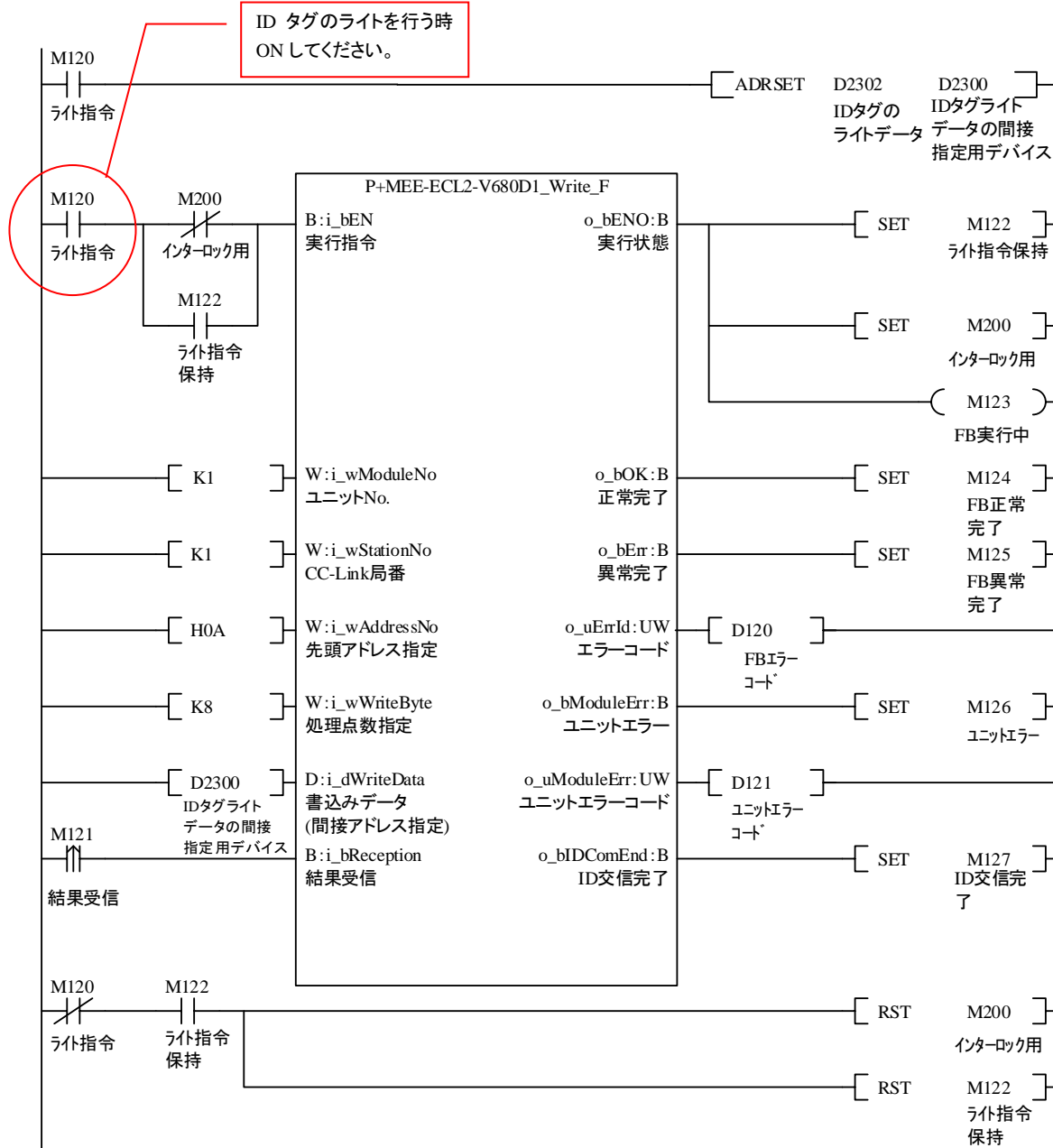
- ・ユニット No. .... 1
- ・CC-Link 局番 ..... 1
- ・先頭アドレス指定 ..... 0AH
- ・処理点数指定 ..... 8 (8 バイト)
- ・読み込みデータ ..... D1202~D1205



(c) P+MEE-ECL2-V680D1\_Write\_F (ID タグのライト)

次の条件の ID タグのライトを行います。

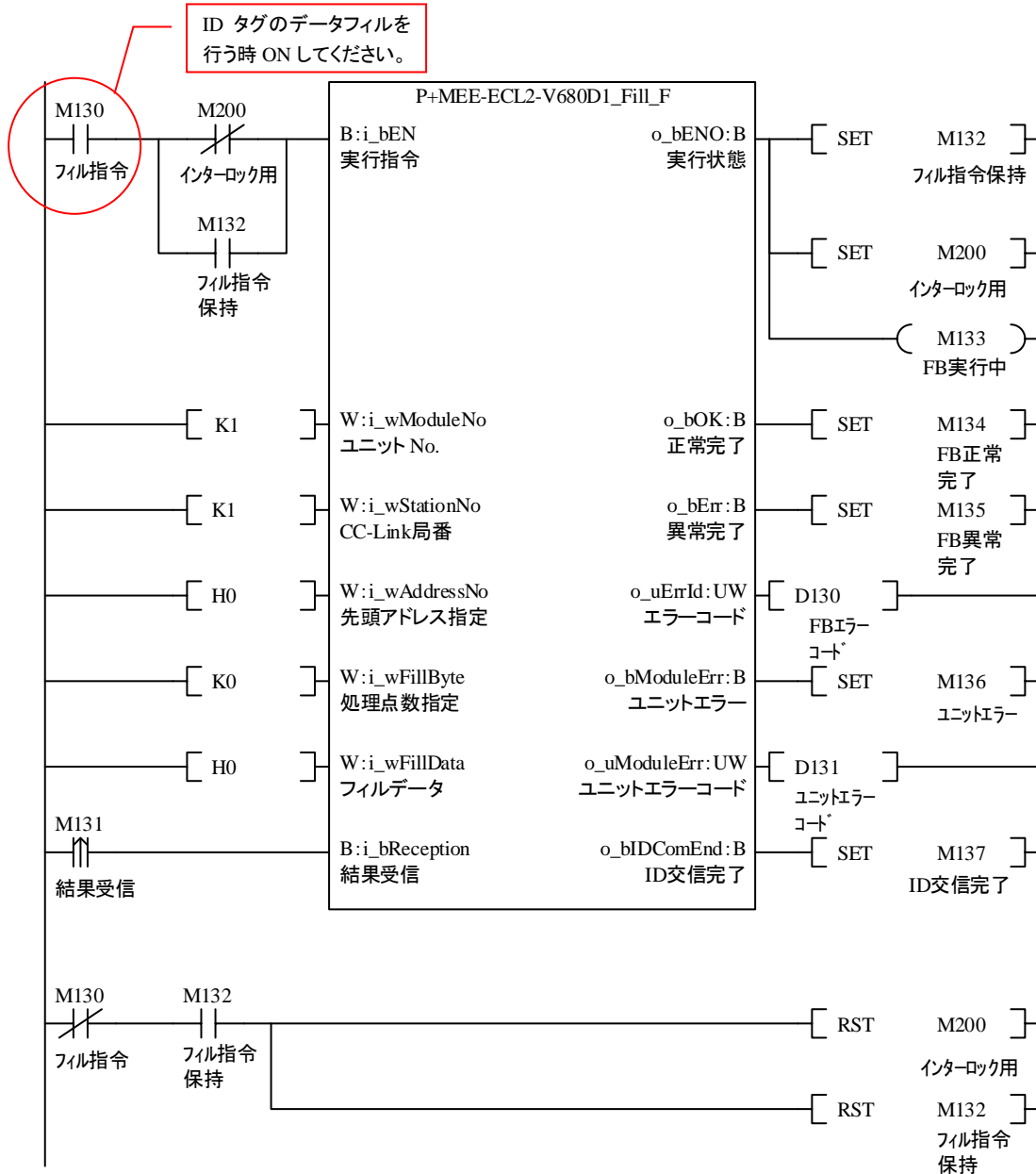
- ・ユニット No. .... 1
- ・CC-Link 局番 ..... 1
- ・先頭アドレス指定 ..... 0AH
- ・処理点数指定 ..... 8 (8 バイト)
- ・書き込みデータ ..... D2302~D2305



(d) P+MEE-ECL2-V680D1\_Fill\_F (ID タグのデータフィル)

次の条件の ID タグのデータフィルを行います。

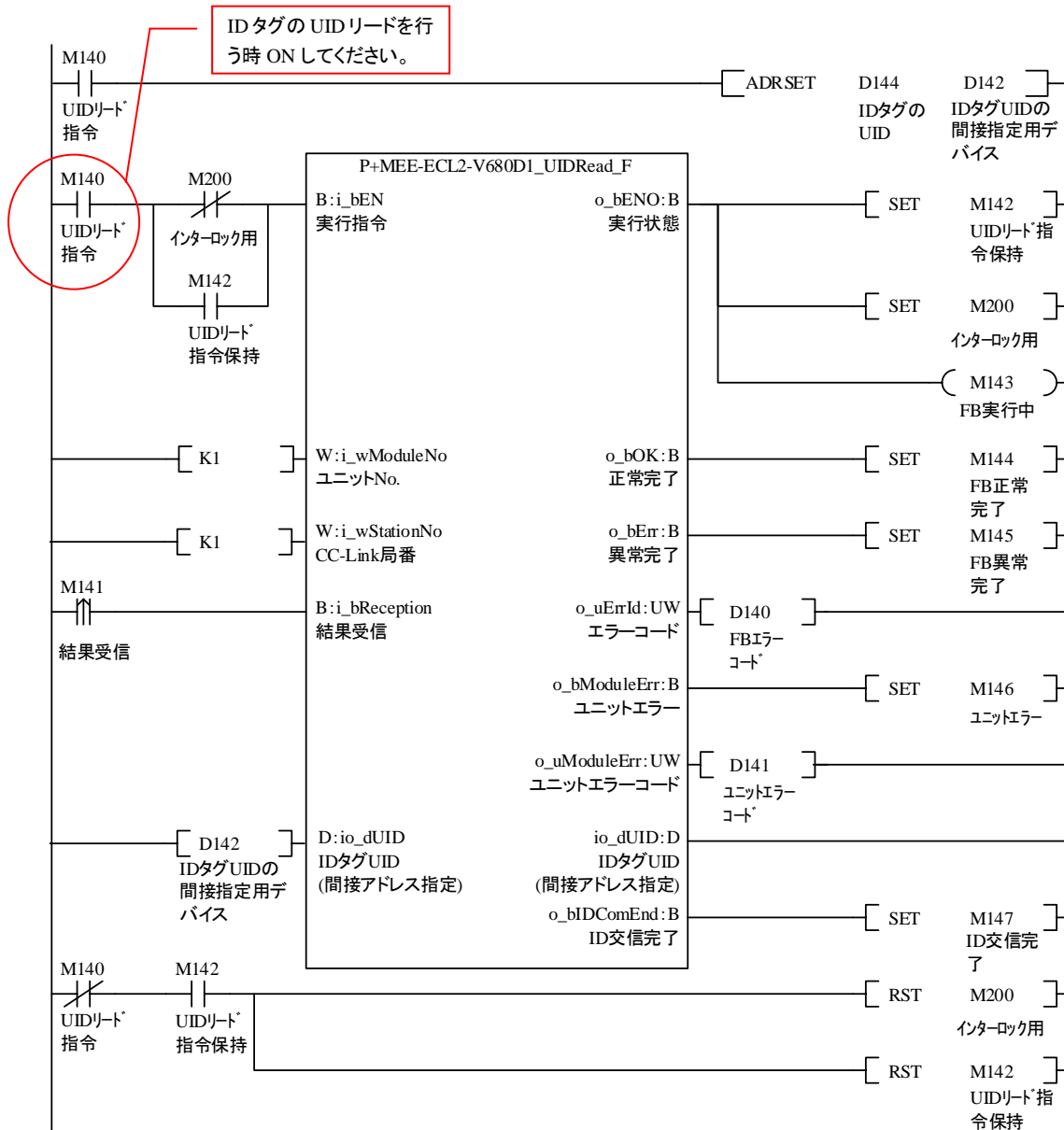
- ・ユニット No. .... 1
- ・CC-Link 局番 .... 1
- ・先頭アドレス指定 .... 0
- ・処理点数指定 .... 0 (全データ指定)
- ・フィルデータ .... 0



(e) P+MEE-ECL2-V680D1\_UIDRead\_F (ID タグの UID リード)

次の条件の ID タグの UID リードを行います。

- ユニット No. .... 1
- CC-Link 局番 ..... 1
- UID 格納先 ..... D144~D147

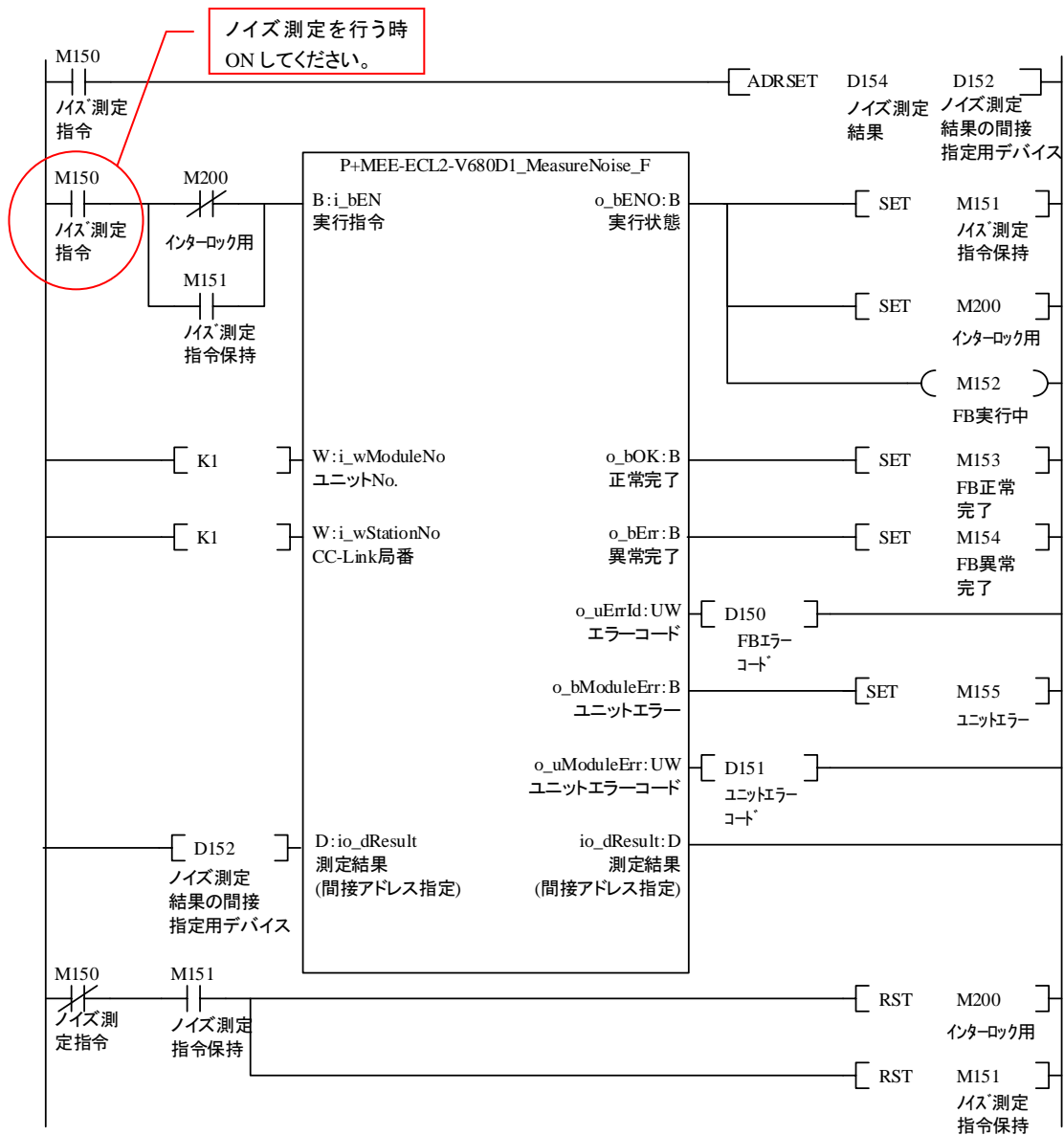




(f) P+MEE-ECL2-V680D1\_MeasureNoise\_F (ノイズ測定)

次の条件のノイズ測定を行います。

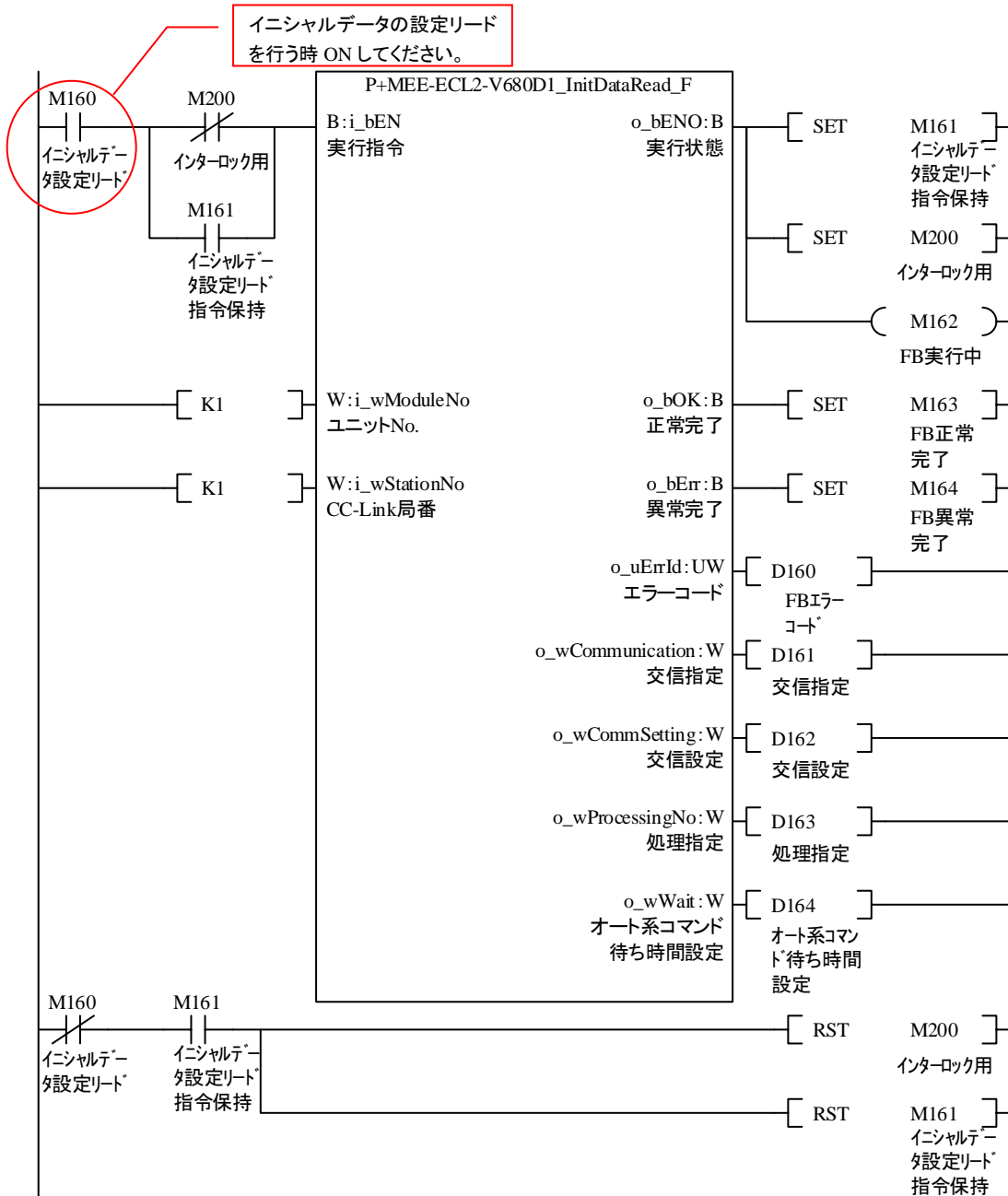
- ユニット No. .... 1
- CC-Link 局番 ..... 1
- ノイズ測定結果 ..... D154~D156



(g) P+MEE-ECL2-V680D1\_InitDataRead\_F (イニシャルデータリード)

次の条件のイニシャルデータを読み出します。

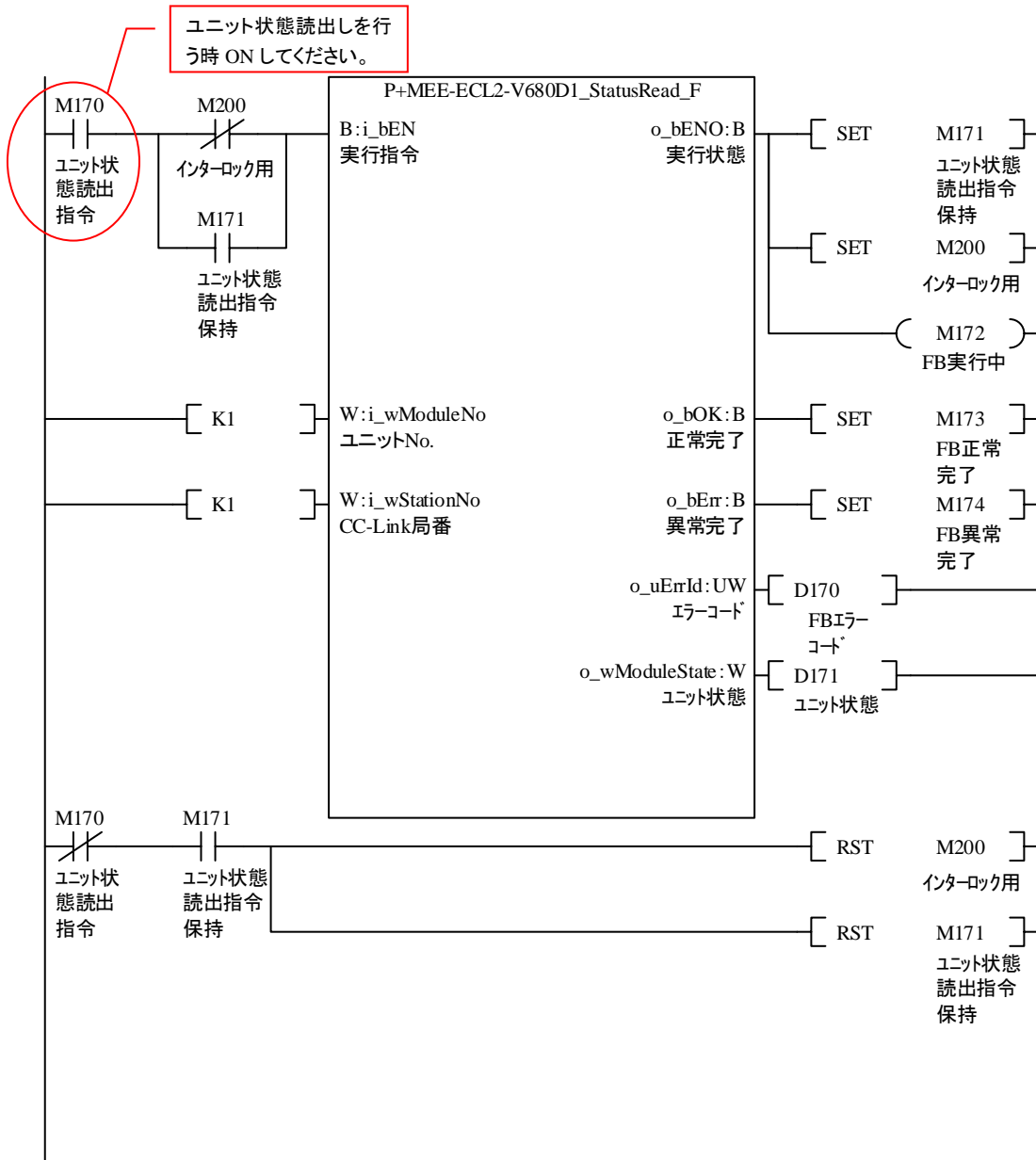
- ユニット No. .... 1
- CC-Link 局番..... 1



(h) P+MEE-ECL2-V680D1\_StatusRead\_F (ユニット状態読出し)

次の条件のユニット状態を読出します。

- ユニット No. .... 1
- CC-Link 局番 ..... 1



## 商標

MELSEC, MELSOFT, CC-Link は、三菱電機株式会社の日本における登録商標です。  
本文中における会社名、システム名、製品名などは各社の登録商標または商標です。  
本文中で、商標記号(®、™)は明記していない場合があります。

## 三菱電機エンジニアリング株式会社

### 営業統括部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)  
TEL(03)3288-1743

東日本営業支社 TEL(03)3288-1743

中日本営業支社 TEL(052)565-3435

西日本営業支社 TEL(06)6347-2926

中 四 国 支 店 TEL(082)248-5390

九 州 支 店 TEL(092)721-2202

### 技術お問い合わせ

#### 名古屋事業所 技術サポート

TEL(0568)36-2068

受付/9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜~金曜  
(土・日・祝日, 春季・夏季・年末年始の休日を除く通常業務日)

三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載  
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

**MEEFAN**

**検索**



<https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/>

形名	ECL2-V680D-M1FC1J
	50CM-D180349-B(2309)MEE